

教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education

JSiSE

発行日 2006年7月31日
 発行所 教育システム情報学会
 発行者 伊藤 紘二
 〒533-8533
 大阪市東淀川区大隅2-2-8 大阪経済大学内
 TEL06-6990-3638 FAX06-6990-3638
<http://www.jsise.org/>
 E-mail: secretariat@jsise.org

ニュース・レター No.143

教育システム情報学会

第31回 JSiSE全国大会 日程のご案内

【第1日】 8月23日(水)

13:00	受付開始 【E館1F】			
14:00-17:00	WA:ワークショップ A e-learning 技術特別委員会企画 「次世代 e-Learning のためのLMSアーキテクチャ」 オーガナイザ: 岡本敏雄 (電気通信大学大学院) 福原美三 (慶應義塾大学) 司会: 福原美三 (慶應義塾大学) 指定討論者: 岡本敏雄 (電気通信大学) 【会場:B32】	WB:ワークショップ B 渉外・活性化委員会企画 「「学生・院生研究発表会(2007年春開催予定)」の説明会ならびにプレ発表会」 司会: 渡辺博芳(帝京大学) 説明会進行: 吉田 寛 (日本データパシフィック) プレ発表会コメンテータ: 渡辺博芳(帝京大学), 堀口知也(神戸大学), 林 敏浩(香川大学) 【会場:B34】	WC:ワークショップ C 情報教育特別委員会企画 「大学新入生を対象とした教科「情報」に関する知識調査」 オーガナイザ: 西野和典 (九州工業大学) 司会: 中村直人 (千葉工業大学) 【会場:B41】	WD:ワークショップ D 研究会委員会・学会誌編集委員会企画 「JSiSEの原点へ! 教育システム開発を見直す!」 【会場:B44】
17:30-19:30	ウェルカム・パーティ			



もくじ

第31回全国大会日程のご案内	1	第3回研究会開催案内	19
全国大会会場ご案内	4	第4回研究会講演募集	21
大学付近の飲食店のご案内	5	第2回研究会報告	22
全国大会大会講演プログラム	6	国際会議案内	24
発表者への案内	17	学会誌「特集号」募集ご案内	25
新入会員の紹介	18	JSiSE30周年記念「ICT活用教育」	26

【第2日】8月24日(木)

8:30-	受付開始 【E館1F】										
9:00-11:10	TA1: 企画セッション A1 「eラーニング 環境のデザイン と実践」 オーガナイザ: 松居辰則 仲林 清 【会場:B32】	TB: 企画セッション B 「ハイパーメディ アと学習支 援」 オーガナイザ: 不破 泰 野崎浩成 渡辺成良 【会場:B34】	TC: 企画セッション C 「ICTを用い た問題作り ーサリング・自 動生成から 作問学習ま で」 オーガナイザ: 小西達裕 平嶋 宗 【会場:B41】	A1: 一般講演 学習管理 システム (LMS) 座長: 酒井三四郎 森本康彦 【会場:B44】	A2: 一般講演 実践(1) 座長: 野部 緑 山下倫範 【会場:G31】	A3: 一般講演 情報教育 (1) 座長: 布施 泉 横山 宏 【会場:G32】	A4: 一般講演 教員養成・ 教育評価 座長: 松永公廣 井上久祥 【会場:G41】	A5: 一般講演 協調学習 座長: 松浦健二 森石峰一 【会場:G42】	A6: 一般講演 ーサリング 支援 座長: 植野雅之 大倉孝昭 【会場:G51】	企業 展 示 会	
11:10-13:20 11:10-12:00 12:10-13:00	昼 休 み 理 事 会 総会(表彰式を含む) 【会場:C31】										
13:00-13:20	基調講演:伊藤紘二(教育システム情報学会会長 東京理科大学) 【会場:C31】										
13:30-14:20	特別講演 1:初等中等教育における情報教育推進政策(仮) 講師:永井克昇(文部科学省 初等中等教育局 参事官付教科調査官) 【会場:C31】										
14:30-16:20	パネル討論会 I :教育システム情報学のアイデンティティと未来技術 【会場:C31】 司会:岡本敏雄(電気通信大学) パネリスト:伊東幸宏(静岡大学), 竹内章(九州工業大学), 中村八東(信州大学), 対馬勝英(大阪電気通信大学), 松居辰則(早稲田大学) コメンテータ:伊藤紘二(東京理科大学)										
16:30-18:30	B1: 一般講演 eラーニング (1) 座長: 渋井二三男 松田岳士 【会場:B32】	B2: 一般講演 インターネット 応用・Web 座長: 中西通雄 安田孝美 【会場:B34】	B3: 一般講演 ユビキタスラ ーニング 座長: 立田ルミ 緒方広明 【会場:B41】	B4: 一般講演 インストラク ショナルデザ イン 会場: 鈴木克明 本田敏明 【会場:B44】	B5: 一般講演 実践(2) 座長: 栴尾真一 【会場:G31】	B6: 一般講演 学習コンテ ツ 座長: 横井茂樹 林 敏浩 【会場:G32】	B7: 一般講演 ヒューマン インタ ーフェース 座長: 金西計英 片山滋友 【会場:G41】	B8: 一般講演 情報倫理 座長: 田中規久雄 宮本 勉 【会場:G42】	B9: 一般講演 認知・夕認 知 座長: 田村恭久 茅島路子 【会場:G51】		【会場: B21, B22, B31】
19:00-21:00	懇 親 会 【会場:新阪急ホテル】										

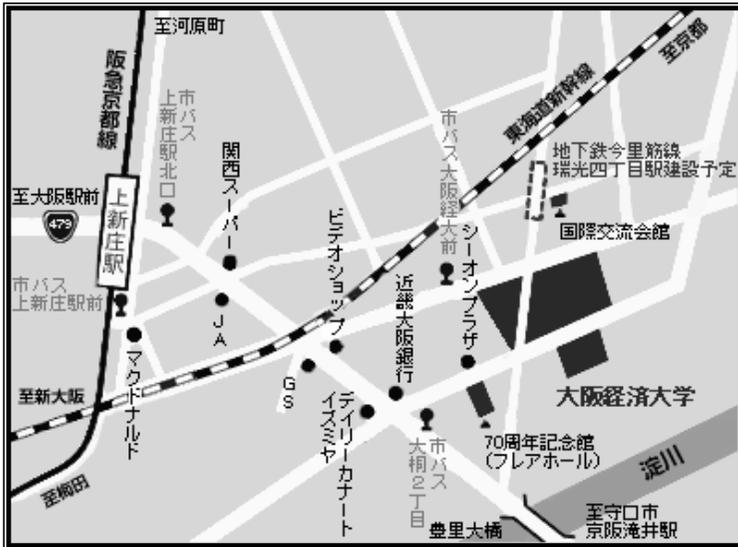
全国大会 会場ご案内

大会会場：大阪経済大学（〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8）

大会事務局：大阪経済大学 家本研究室 E-mail：jsise2006@osaka-ue.ac.jp

大会 Web ページ： <http://www.jsise.org/>（JSiSEHP の全国大会をご覧ください）

●最寄駅：阪急「上新庄駅」から大阪経済大学まで



- ① 徒歩（約 15 分）
- ② 「上新庄」北口より市バス
37 系統・93 系統
「上新庄」南口より市バス
37B
- ②, ③ともに
【井高野車庫前】行,
「大阪経大前」下車

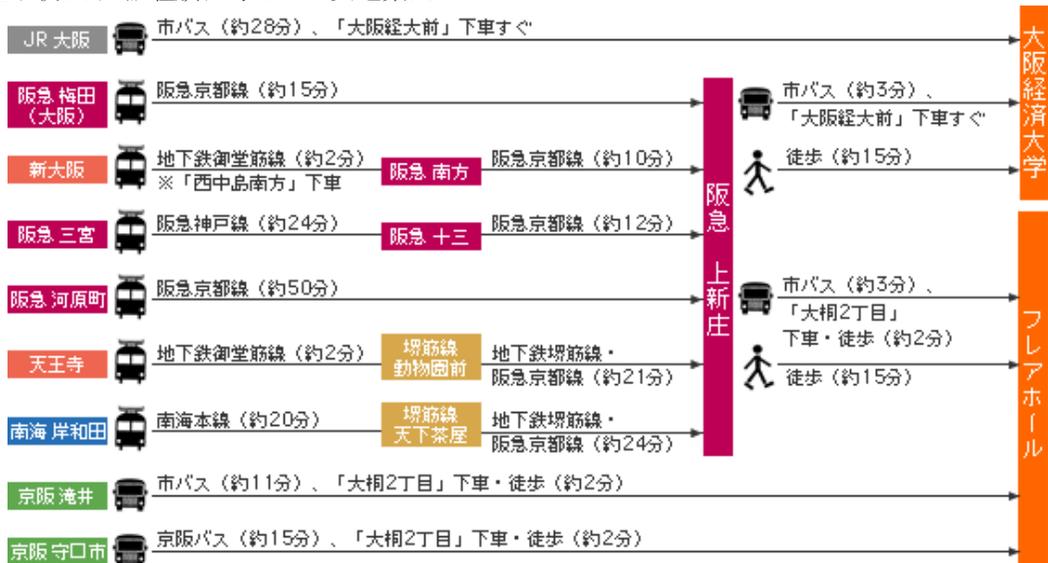
※37 系統・93 系統は増発予定です。

詳しい内容は、大阪経済大学 HP 内「交通アクセス」をご覧ください。

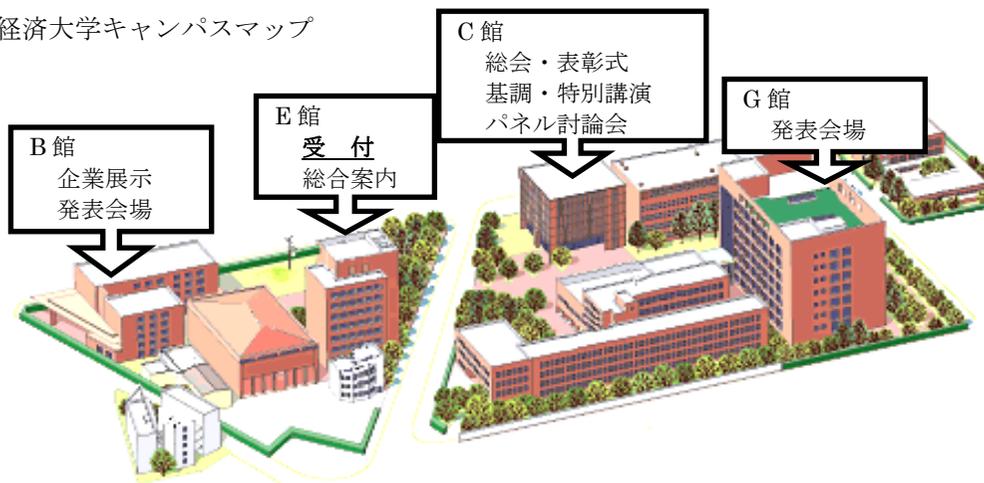
<http://www.osaka-ue.ac.jp/profile/access.html>

※注 お車でのご来校はご遠慮ください。

●主な駅より大阪経済大学までの交通案内

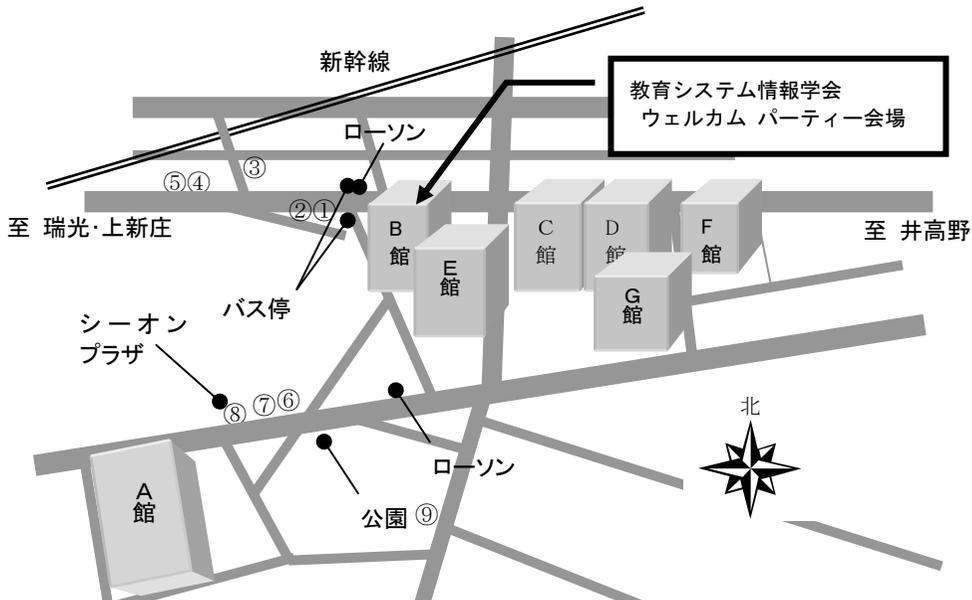


●大阪経済大学キャンパスマップ



大学周辺食事処のご案内

下記以外にも大学周辺にはいろいろとありますので、ご参考にしてご利用下さい。



校内

B館1階 生協 (11:00～14:00)

B館2階 カフェテリア (11:00～14:00 昼食・喫茶 14:00～16:00 喫茶のみ)

案内の一例

①レイン・ドール(喫茶・食事) 12:10～営業

②アップル(喫茶・食事)

③グロリア(昼食)

④近江屋(定食)

⑤野望天(ラーメン)

⑥函館市場(回転寿司)

⑦びっくり・ドンキー(ファミリーレストラン)

⑧李記担担麵食堂(担担麵・中華)

⑨すし敏(寿司)

シーオンプラザ内: ファーストキッチン、あるご、ベーカリーかふえぶらんじえ 等)

第 31 回全国大会 講演プログラム(予告版)

最新版及び最終版は、大会ホームページに掲載します

[1 日目]

8 月 23 日 (水) 14:00~17:00 ワークショップ

WA	ワークショップA: e-Learning 技術特別委員会(システム技術部, CSCL 部, e-Pedagogy 部)企画 「次世代 e-Learning のための LMS アーキテクチャ」 オーガナイザ: 岡本敏雄 (電気通信大学大学院), 福原美三 (慶應義塾大学) 司会: 福原美三 (慶應義塾大学) 指定討論者: 岡本敏雄(電気通信大学)	【会場: B32】
WA-1	uClassroom: Concept and Its Implementation of Ubiquitous Classroom for Ubiquitous Teaching and Learning/○梶田将司(名古屋大学情報連携基盤センター)	
WA-2	e ラーニング技術標準化と LMS アーキテクチャ/○仲林 清(NTT レゾナント株)	
WA-3	Web サービスを用いた分散型協調学習支援環境/○田村恭久(上智大学理工学部)	
WA-4	次世代 e-Learning のための LMS アーキテクチャ- CEAS 開発とそれを利用した現代 GP 取組からの考察 -/○冬木正彦(関西大学工学部)	
WA-5	Learning GRID と協調学習基盤/○香山瑞恵(専修大学ネットワーク情報学部)	
WA-5	ファシリテーター・エージェントを持つ ILMS/○植野真臣(電気通信大学大学院情報システム学研究所)	

WB	ワークショップB: 渉外・活性化委員会企画 「学生・院生研究発表会(2007年春開催予定)」の説明会ならびにプレ発表会 司会: 渡辺博芳 (帝京大学) 説明会進行: 吉田 覚 (日本データパシフィック) プレ発表会コメントータ: 渡辺博芳 (帝京大学), 堀口知也 (神戸大学), 林 敏浩 (香川大学)	【会場: B34】
----	--	-----------

WC	ワークショップC: 情報教育特別委員会企画 「大学新入生を対象とした教科「情報」に関する知識調査」 オーガナイザ: 西野和典 (九州工業大学) 司会: 中村直人 (千葉工業大学)	【会場: B41】
----	--	-----------

WD	ワークショップD: 研究会委員会・学会誌編集委員会合同企画 「JSiSEの原点へ! 教育システム開発を見直す!」	【会場: B44】
----	---	-----------

[2 日目]

8 月 24 日 (木) 9:00~11:10 研究会委員会企画セッション、一般講演

TA1	企画セッションA(1) 「e ラーニング環境のデザインと実践」 オーガナイザ 松居辰則 (早稲田大学), 仲林 清 (NTT レゾナント株式会社)	【会場: B32】
TA1-1	学習目的のソーシャルネットワーキングサイトの開発/○吉崎弘一(園田学園女子大学)	
TA1-2	手書きによるコミュニケーションに基づく協調学習支援システム/○長谷川健治(東京理科大学基礎工学部), 掛川淳一(兵庫教育大学学校教育学部), 伊丹 誠, 伊藤紘二(東京理科大学基礎工学部)	
TA1-3	学習順序決定機能をもつサーバ構築技術学習システムの開発/○小林峰子(神戸大学大学院総合人間科学研究科), 大月一弘(コベルコシステム株式会社), 浅羽修丈, 武 一佳(神戸大学大学院総合人間科学研究科)	
TA1-4	学習者モニタリングシステムを組み込んだ ILMS (Intelligent Learning Management System) の構築/○二宮利江, 岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究所)	
TA1-5	SCORM 2004 を拡張したモバイルラーニング環境/○仲林 清, 星出高秀(NTT レゾナント株式会社), 細川真伸, 川上太一, 佐藤一夫(株式会社 NTT ドコモ)	
TA1-6	ゴールベースドシナリオを用いた e ラーニング教材開発/○松本 馨, 松本雅明(産業能率大学総合研究所 e ラーニング開発センター), 川口 啓(産業能率大学総合研究所学習システムソリューション), 古賀曉彦(産業能率大学総合研究所 e ラーニング開発センター)	
TA1-7	職業意識と能力を向上させるための e ラーニングコンテンツの制作/徳屋下 茂, ○久家享子, 池上 仁, 池田絵美, 梶原しおり, 山崎 誠, 時井由花, 江原由裕, 藤井俊子, 角 和博(佐賀大学)	
TA1-8	オブジェクトモデルを用いた数学教育教材の開発の設計と実践/○江見圭司(京都情報大学院大学, 京都コンピュータ学院), 矢島 彰(大阪国際大学経営情報学部), 石川高行, 中西祥彦(神戸常盤女子高校), 江見善一(京都産業大学)	

TB 企画セッションB 「ハイパーメディアと学習支援」		【会場：B34】
オーガナイザ 不破 泰(信州大学), 野崎浩成(愛知教育大学), 渡辺成良(電気通信大学)		
TB-1	タートルメタファーを用いた3DCG オーサリングシステム/○対馬勝英, 植野雅之(大阪電気通信大学), 谷田一真(知的クラスタ), 蘆田 登(福井工業高等専門学校), 野村典子(武庫川女子大学)	
TB-2	e-Learning 教材の更新に追隨するアノテーションシステムの提案/○國宗永佳, 新林正明(信州大学工学部), 不破 泰(信州大学大学院工学系研究科)	
TB-3	e-Learning による単位認定の実践/○川西雪也, 小松川浩(千歳科学技術大学)	
TB-4	電子教材を用いた協調学習における補助教材の開発と評価: 学習活動の円滑化と学習効果の向上を目指して/○大島律子(静岡大学情報学部), 江口 聡(静岡大学大学院教育学研究科), 大島 純(静岡大学情報学部)	
TB-5	インターネットオークション体験学習教材の開発/○梅田恭子, 平本靖子, 野崎浩成, 江島徹郎(愛知教育大学教育学部)	
TB-6	発想転換による日本の美の表現方法の一検討/○高田伸彦(金沢学院大学美術文化部)	
TB-7	美術教育における記録に基づいたカリキュラムデザイン/○桑畑 健(多摩美術大学大学院美術研究科), 楠 房子(多摩美術大学)	

TC 企画セッションC 「ICTを用いた問題作り-オーサリング・自動生成から作問学習まで」		【会場：B41】
オーガナイザ 平嶋 宗(広島大学), 小西達裕(静岡大学)		
TC-1	オープンソースソフトウェアのLMS「Moodle」のための教材自動登録ツール「MooDoor」の開発/○秋山 實(合資会社eラーニングサービス)	
TC-2	試験前公開を可能にする試験問題のリフォーム法/○竹内俊彦(青山学院大学総合研究所)	
TC-3	文脈依存語学学習システムを生成するオーサリングシステム/○鈴木大輔, 米澤宣義(工学院大学情報工学科)	
TC-4	e-ラーニングによる漢字学習における問題自動生成方法の提案/○宮地 功, 加藤政則, 治 卓也(岡山理科大学), 吉田幸二(湘南工科大学)	
TC-5	複合問題の解の自動生成に向けて/○小尻智子(名古屋大学情報連携基盤センター), 渡邊豊英(名古屋大学大学院情報科学研究科)	
TC-6	文章題の自動作問システムおよび作問支援システムの実現/○小島一晃(名古屋大学大学院人間情報科学研究科), 三輪和久(名古屋大学大学院情報科学研究科)	
TC-7	遠隔で協働的に作問可能なWB Tシステムの提案/○光國正明, 高木正則, 勅使河原可海	
TC-8	What if not 方略を用いた作問学習の知的支援/○浦 智幸, 東本崇仁(広島大学大学院工学研究科), 堀口知也(神戸大学海事科学部), 平嶋 宗(広島大学大学院工学研究科)	

A1: 一般講演 「学習管理システム (LMS)」		【会場：B44】
座長: 酒井三四郎(静岡大学), 森本康彦(富士常葉大学)		
A1-1	教師と学習者のインタラクションに基づく授業のためのSCORM対応LMSの開発/○森本康彦(富士常葉大学, 長岡技術科学大学), 植野真臣(電気通信大学), 柴田晋吾(コンパクト株), 横山節雄, 宮寺庸造(東京学芸大学)	
A1-2	LCMS「WebCT Vista」を用いた, 非同期型完全eラーニング授業の実践報告: その手法と成果, 工夫点と残された課題/○島 尚徳(京都コンピュータ学院), 松本 哲(京都情報大学院大学, 京都コンピュータ学院, 信州大学大学院), 江見圭司(京都情報大学院大学)	
A1-3	専門重視の学習管理システムにおけるデジタルポートフォリオ機能/○中山 健(電気通信大学eラーニング推進センター), 植野真臣, 志水 幸, 安間 文彦, 二宮 利江, 岡本 敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究科)	
A1-4	知識循環指向のLearning-GRID システムの構築/○安間文彦, 大神徹也, 岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究科)	
A1-5	moodle と PC 画面動画キャプチャー教材を活用した一般情報教育としてのCG教育/○矢島 彰(大阪国際大学)	
A1-6	メンタリングガイドライン駆動型のメンタ支援システム的设计/○榎藤俊彦, 松田岳士(青山学院大学総合研究所eラーニング人材育成研究センター)	
A1-7	NetCommons を利用した情報教育/○小菅 貴彦(日本電子専門学校情報系)	
A1-8	学習者の学習状況に対応する課題を順序制御する Moodle コースフォーマット/○鈴木航二(静岡大学大学院情報科学研究科), 酒井三四郎(静岡大学情報学部)	

A2: 一般講演 「実践 (1)」		【会場：G31】
座長: 野部 緑(大阪府立桃谷高等学校), 山下倫範(立正大学)		
A2-1	情報伝達における媒体の違いの学習/○野部 緑, 長 文彦(大阪府立桃谷高等学校), 阿濱茂樹(金沢大学教育学部)	
A2-2	生涯学習プラットフォームとしてのインターネット市民塾/○吉田敦也(徳島大学大学開放実践センター), 柵 富雄(富山インターネット市民塾推進協会)	
A2-3	出前授業を課題としたPBL教育によるデザイン能力の育成/○藤田直幸, 阪部俊也, 中谷武志, 小柴 孝, 山口賢一, 石飛 学(奈良工業高等専門学校), 下倉雅行(大阪大学)	
A2-4	ブログを活用した学生生活支援の試み/○川田博美(名古屋女子大学短期大学部)	

- A2-5 一般メディアで用いられている表現方法の分析／○稲浦 綾(大阪電気通信大学先端マルチメディア合同研究所), 浅羽修丈(神戸大学大学院総合人間科学研究科), 石桁正士(大阪電気通信大学総合情報学部)
- A2-6 投稿型自主学習素材共有システムの開発ー学習コミュニティのモデル化ー／○水野貴規(香川大学工学部), 林 敏浩(香川大学総合情報基盤センター), 富永浩之, 山崎敏範(香川大学工学部)
- A2-7 Web教材を用いた音楽教育カリキュラムの実践／○荻原 尚, 木川 裕(武蔵野学院大学), 山下倫範(立正大学)
- A2-8 簿記講義における読作デジタル支援ツールの機能追加／○小堺光芳, 山下倫範(立正大学)

A3：一般講演 「情報教育（1）」

【会場：G32】

座長：布施 泉(北海道大学), 横山 宏(大阪電気通信大学)

- A3-1 大学における情報教育の新たな展開／○布施 泉, 岡部成玄(北海道大学情報基盤センター)
- A3-2 ソフトウェア開発協働演習方式授業／○豊永正人(日立ソフトウェアエンジニアリング㈱), 鈴木克明(熊本大学大学院)
- A3-3 教科「情報」を受講した学生のための大学における情報基礎教育の実践／○佐野満美, 橋本まる美(摂南大学), 下倉雅行(大阪大学), 松永公廣(摂南大学)
- A3-4 情報教育と応用力／○中村民明(tami 情報教育研究所), 石桁正士(大阪電気通信大学), 松永公廣(摂南大学), 横山 宏(大阪電気通信大学), 野口紳一郎(龍谷大学), 正木幸子(大阪商業大学), 飯田慈子(tami 情報教育研究所), 下倉雅行(大阪大学), 岩崎重剛(やる気教育研究所)
- A3-5 大学に高校新教科「情報」履修者を迎えるための一考察／○野口紳一郎(龍谷大学理工学部), 西野和典(九州工業大学情報工学部)
- A3-6 教科「情報」専修免許取得のためのブレンド型免許法認定公開講座／○西野和典, 山口真之介, 大西淑雅(九州工業大学)
- A3-7 大学における情報教育での育成すべき能力について(2)ー科目関係者が抱く科目と能力の関係ー／○横山 宏(大阪電気通信大学), 中村民明(tami 情報教育研究所), 下倉雅行(大阪大学), 正木幸子(大阪商業大学), 飯田慈子(tami 情報教育研究所), 野口紳一郎(龍谷大学), 大隅聡明(常磐会学園大学), 岩崎重剛(やる気教育研究所), 石桁正士(大阪電気通信大学), 松永公廣(摂南大学)
- A3-8 教科「情報」における学習内容の順序の分析と検討／○大山義弘, 江島徹郎, 梅田恭子, 野崎浩成(愛知教育大学教育学部)

A4：一般講演 「教員養成・教育評価」

【会場：G41】

座長：松永公廣(摂南大学), 井上久祥(上越教育大学)

- A4-1 情報科教育法における一授業方法／○橋本まる美, 佐野満美(摂南大学), 工藤英男(大阪成蹊大学), 松永公廣(摂南大学)
- A4-2 協働による課題解決を組み込んだ教員養成・教師教育向け遠隔研修システムの実用化研究／○井上久祥(上越教育大学)
- A4-3 教師の指導目標に適合した学習指導のためのS-P表分析ツール／○大橋弘友紀(静岡大学大学院情報学研究科), 酒井三四郎(静岡大学情報学部)
- A4-4 ALT (外国語指導助手)の育成のためのWeb利用型グローバル研修／○西堀ゆり(北海道大学情報基盤センター), 久島智津子(北海道大学大学院国際広報メディア研究科), 山本裕一(北海道大学情報基盤センター)
- A4-5 情報処理環境の変化と行動意識(2)／○金山茂雄(拓殖大学商学部), 窪田健一(静岡英知学院大学短大部)
- A4-6 EMアルゴリズムによる試験得点分布の分析／○神谷達夫(京都創成大学), 松田 稔(大阪電気通信大学大学院)
- A4-7 穴埋め問題を用いた採点評価方法の提案ー情報処理技術者試験問題を題材としてー／○津森伸一(岐阜聖徳学園大学短期大学部), 磯本征雄(岐阜聖徳学園大学経済情報学部)
- A4-8 ICT活用教育に対する社会的期待度の世代間格差に関する一考察／○佐藤智明(神奈川工科大学), 早稲田大学大学院, 永岡慶三(早稲田大学大学院)

A5：一般講演 「協調学習」

【会場：G42】

座長：松浦健二(徳島大学), 森石峰一(大阪電気通信大学)

- A5-1 対話のきっかけを補助するシステムの開発(1)ー初対面の人との対話に関する実態調査ー／○森石峰一(大阪電気通信大学人間科学研究センター), 浅羽修丈(神戸大学大学院総合人間科学研究科)
- A5-2 対話のきっかけを補助するシステムの開発(2)ーノートパソコンをベースにした試作品の開発ー／○早野秀樹(大阪電気通信大学情報処理教育センター), 森石峰一(大阪電気通信大学人間科学研究センター)
- A5-3 学習者の打鍵過程を表示する協調学習用テキストチャットツール開発の試み／○塚原 渉(東京農工大学大学院工学部), 赤松慎吾, 櫻田一聡, 岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究科)
- A5-4 課題収集評価システムWebTAへの優秀作提示機能と自己評価機能の追加／○下倉雅行, 田中規久雄(大阪大学大学院法学研究科)
- A5-5 課題収集システムWebTAを用いたPBL授業における問答的協調学習の教育効果／○田中規久雄(大阪大学), 西本実苗(関西学院大学), 下倉雅行(大阪大学)
- A5-6 課題解決型学習に対する遠隔グループ支援について／○鷹岡 亮(山口大学教育学部), 片山美樹, 渡辺芳雅(誠英高等学校), 林 得治(山口大学教育学部)
- A5-7 Contents Sharable Tool : LapChat”による協調学習の実践／○香山瑞恵(専修大学ネットワーク情報学部)
- A5-8 映像ブログ技術による協調学習支援システムのデザイン／○寺尾寛史(徳島大学大学院工学研究科), 松浦健二, 金西計英(徳島大学高度情報化基盤センター), 矢野米雄(徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部)

A6：一般講演 「オーサリング支援」 【会場：G51】
座長：植野雅之(大阪電気通信大学)，大倉孝昭(大阪大谷大学)

- A6-1 03Logoを用いた3DCG オーサリング環境/○植野雅之，谷田一真，西木 毅(大阪電気通信大学)
A6-2 ソーシャルブックマークを用いた年表作成支援/○中川誠仁(徳島大学工学部)，三好康夫(徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部)，金時計英(徳島大学高度情報化基盤センター)，矢野米雄(徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部)
A6-3 意味的関連を考慮した教材の説明部分からの確認問題作成支援/○青垣徳之(静岡大学大学院情報学研究所)，酒井三四郎(静岡大学情報学部)
A6-4 実務授業での演習問題実施支援ツールの開発/○川口卓也(読売理工医療福祉専門学校)
A6-5 CEAS 個別演習教材に対する問題作成支援機能の改良/○富田 匠(関西大学大学院工学研究科)，檀 寛成(関西大学工学部)，植木泰博(関西大学先端科学技術推進機構)，冬木正彦(関西大学工学部)，柴 健次(関西大学会計専門職大学院)，荒川雅裕(関西大学工学部)
A6-6 協調型eテスト構成支援システムの設計と開発/○ソムアン ポクホン，植野真臣，岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究所)
A6-7 軌跡オブジェクトによるインタラクティブ映像教材の制作と配信/○阿部博信(三菱電機情報技術総合研究所)，大塚仁司(三菱電機インフォメーションシステムズ株)，濱谷英次(武庫川女子大学情報教育研究センター)
A6-8 アクティブ字幕付きコンテンツ作成用ツールCaptionMasterの開発/○大倉孝昭(大阪大谷大学，メディア教育開発センター)

8月24日(木) 13:00～13:20 基調講演

L-1 基調講演 【会場：C31】
伊藤紘二(教育システム情報学会会長 東京理科大学)

8月24日(木) 13:30～14:20 特別講演1

L-2 特別講演1 【会場：C31】
「初等中等教育における情報教育推進政策(仮)」
講 師：永井克昇(文部科学省 初等中等教育局 参事官付教科調査官)

8月24日(木) 14:30～16:20 パネル討論会 I

P1 パネル討論会 I 【会場：C31】
「教育システム情報学のアイデンティティと未来技術」
司 会：岡本敏雄(電気通信大学)
パネリスト：伊東幸宏(静岡大学)，竹内章(九州工業大学)，中村八東(信州大学)，
対馬勝英(大阪電気通信大学)，松居辰則(早稲田大学)
コメンテータ：伊藤紘二(東京理科大学)

P1-1 学会誌から見た教育システム情報学会/○竹内 章(九州工業大学)

P1-2 論理および数理能力の実践的教育/○中村八東(信州大学)

8月24日(木) 16:30～18:30 一般講演

B1：一般講演 「eラーニング(1)」 【会場：B32】
座長：洪井二三男(城西大学)，松田岳士(慶應義塾大学)

- B1-1 診療放射線技師養成のための e-learning 学習システムの開発と評価(その2)/○鳥谷尾秀行(秀明学園)，辻 達之(九州工業大学)，坂本重己，洪井二三男(城西大学)
B1-2 マクロ処理を用いた時間管理システム/○竹上 健(高崎商科大学)，竹上 恵(ジェームズクック大学)，松村和茂(高崎商科大学)
B1-3 問題の関連性を考慮したWeb上の学習支援システム構築の試み/○大島直廣，加藤良子(中央学院大学)
B1-4 宮崎広域市町村圏域におけるICTを活用したサービスラーニングモデルの構築/○辻 利則，竹野 茂，森部陽一郎，川瀬隆千，田中宏昭(宮崎公立大学)
B1-5 リンク機能を持つ映像教材における学習者の操作履歴の活用に関する一考察/○森 真幸(近畿大学大学院)，廣瀬健一(産業技術短期大学)，武田昌一(近畿大学大学院)
B1-6 eラーニングにおける学習支援者のROIに関する仮説モデル-草の根eラーニングの試み-/○松田岳士，伊藤健二(慶應義塾大学)
B1-7 円滑な講義撮影を支援する講義適応型カメラ制御システムの提案/○越智洋司，井口信和(近畿大学理工学部)，田中一基(近畿大学工学部)，溝沢昭二(近畿大学理工学部)，白石善明(名古屋工業大学大学院)，向井苑生(近畿大学理工学部)

B2：一般講演 「インターネット応用・Web」 【会場：B34】
座長：中西通雄(大阪工業大学)，安田孝美(名古屋大学)

B2-1 着席状況との照合を重視した出席管理システムの構築と運用結果/○梶木克則，樹井 猛，那須祐夫(甲子園大学現代経営学部)

B2-2	eポートフォリオを活用した理系人材育成システムの開発/○清水賀代(日本女子大学理学部), 小村道昭(株エミットジャパン), 黒田綾香(日本女子大学理学部), 梶田将司(名古屋大学情報連携基盤センター), 小館香椎子(日本女子大学理学部)
B2-3	Web インタフェースを用いたプロキシのアクセス制御ツールの試作/○平岡一剛, 山内建二(大阪工業大学情報センター), 中西通雄, 安留誠吾(大阪工業大学情報科学部)
B2-5	リモートラボを用いたネットワーク技術者育成の試み/○遠西学, 中村直人, 中川泰宏, 須田宇宙(千葉工業大学大学院情報科学研究科)
B2-6	仮想ネットワークを利用したネットワーク構築実習のための擬似インターネット機能の開発/○立岩佐一郎, 安田孝美, 横井茂樹(名古屋大学大学院情報科学研究科)

B3: 一般講演 「ユビキタスラーニング」

【会場: B41】

座長: 立田ルミ(獨協大学), 緒方広明(徳島大学)

B3-1	ユビキタスデバイスを用いた文献検索システム/○北村聡洋(徳島大学工学部), 光原弘幸, 緒方広明(徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部), 金西計英, 矢野米雄(徳島大学高度情報化基盤センター)
B3-2	実世界オブジェクトとビデオ映像とのリンクによるユビキタス学習支援システム/○松家好希, MoushirM. ELBishouty, 緒方広明, 矢野米雄(徳島大学工学部)
B3-3	ケータイを利用した授業評価システムにおけるキャリアと端末メーカーの検討/○大塚一徳(長崎県立大学), 八尋剛規(東海大学福岡短期大学)
B3-4	携帯電話を活用した就職指導支援システムの構築/○大隅敏明, 川口栄美, 松阪孝子, 田端矢一郎(常磐会学園大学)
B3-5	大教室における携帯電話の利用/○立田ルミ(獨協大学)

B4: 一般講演 「インストラクショナルデザイン」

【会場: B44】

座長: 鈴木克明(熊本大学), 本田敏明(茨城大学)

B4-1	教授システム学専攻大学院先進事例のWeb調査/○鈴木克明(熊本大学大学院)
B4-2	高等教育におけるe-learning 推進の戦略的構想の分析: 明治大学ユビキタスカレッジを事例として/○宮原俊之(明治大学), 熊本大学大学院, 阪井和男(明治大学)
B4-3	三育学院短期大学看護学科学士の為のADDIEモデルの実践/○後藤肇之(三育学院短期大学)
B4-4	教授学の今までとこれから-e-Pedagogy の体系化とe-Learning の再構築を目指して-/○本田敏明(茨城大学教育学部), ミハヤエル・シェーフアー(茨城大学教育学部), ルードヴィヒスブルグ教育大学教育学・情報学学科)
B4-5	シンクライアントシステムを用いたシニアビギナー向けコンピュータ環境の開発/○佐々木喜一郎(名古屋大学大学院情報科学研究科), 岡村聡一郎(岐阜経済大学大学院経営学研究科), 安田孝美, 横井茂樹(名古屋大学大学院情報科学研究科)
B4-6	高等教育におけるe-Learning 導入推進のための組織設計/○阪井和男(明治大学), 宮原俊之(明治大学), 熊本大学大学院, 栗山 健(株学習研究社), 茂手木 聡(株ウチダ人材開発センター), 小林建太郎(株デジタルナレッジ)
B4-7	高等教育機関へのID普及の研究と実践/○内田 実(独立行政法人メディア教育開発センター)

B5: 一般講演 「実践 (2)」

【会場: G31】

座長: 枅尾真一(大手門学院大学)

B5-1	棚田の地域創成授業を支援する遠隔観測環境の構築/○穂屋下 茂, 江原由裕, 朴 逸子, 米満 潔, 大谷 誠, 角 和博, 渡辺健次, 五十嵐勉(佐賀大学)
B5-2	看護職に向けた継続教育提供システムにおけるランダム化比較試験-e-learning と対面授業(講義)の比較検討-第1報/○小嶋美紀(熊本大学大学院), 八重ゆかり(東京大学大学院), 佐居由美, 中山和弘, 堀内成子(聖路加看護大学)
B5-3	幼稚園でのパソコン利用についての意識調査/○松田知明(羽島学園短期大学)
B5-4	Google Web APIs を利用した英文作成支援ツールユーザーの語彙レベルに応じた用例提示-/○網嶋祐一(香川大学大学院工学研究科), 安藤一秋(香川大学工学部)
B5-5	e-Learning 環境における字形認知漢字学習システムの利用評価/○柳 定浩, 林 俊成(東京外国語大学), 山本 樹(尚美学園大学)
B5-6	医学用語ブレンディッド・ラーニングシステムの開発と運用経験/○坂谷道信(川崎医療短期大学), 田中伸代(川崎医療福祉大学), 小林伸行(山陽学園大学), David H. Waterbury(川崎医科大学), 名木田恵理子(川崎医療短期大学)
B5-7	実践力を育成するアパレルCAD 教育用カリキュラムの開発と評価/○山本高美(和洋女子大学家政学部), 坂元 章(お茶の水女子大学文芸学部), 赤坂留以(お茶の水女子大学大学院人間文化研究科), 藤代一成(東北大学流体科学研究科)

B6: 一般講演 「学習コンテンツ」

【会場: G32】

座長: 林 敏浩(香川大学), 横井茂樹(名古屋大学)

B6-1	Web における地域生活情報の内容・構造の分析および地域情報XML の提案/○松本早野香(名古屋大学大学院人間情報学研究科), 横井茂樹(名古屋大学大学院情報科学研究科)
------	---

- B6-2 メタ知識による教材再利用を目指した部品化の枠組み/○岩根典之, 横本哲志, 松原行宏(広島市立大学情報科学部)
- B6-3 オーサリングシステム SMART における学習履歴評価システムの開発/○山本祐樹(知的クラスター), 対馬勝英(大阪電気通信大学)
- B6-4 ネット授業コンテンツの英語版の制作について/○江原由裕, 古賀崇朝, ミッチェル・ゾーニア・ルアン, 梅崎卓哉, 角 和博, 穂屋下 茂(佐賀大学)
- B6-5 通常教室における講義のデジタルコンテンツ自動作成システムの開発/○米川 輝(法政大学情報技術センター), 萩原靖久(法政大学大学院工学研究科), 岩月正見(法政大学大学院システムデザイン研究科)
- B6-6 まちづくり教育のためデジタル教材となる建物の3次元モデルの自動生成/○杉原健一(岐阜経済大学)
- B6-7 視線計測による e-Learning 教材の音声効果の分析/○佐々木康人(香川大学工学部), 林 敏浩(香川大学総合情報基盤センター), 富永浩之, 山崎敏範(香川大学工学部)

B7: 一般講演 「ヒューマンインターフェース」

【会場: G41】

座長: 片山滋友(日本工業大学), 金西計英(徳島大学)

- B7-1 閲覧者情報を基にしたコンテンツ提供者支援システム/○酒巻栄治(徳島大学工学部), 松浦健二, 金西計英(徳島大学高度情報化基盤センター), 矢野米雄(徳島大学工学部)
- B7-2 手書きベース統合学習支援システムについての研究/○Muhd Dzulkhiflee, 田野俊一, 岩田 満, 橋山智訓(電気通信大学大学院情報システム学研究科)
- B7-3 スクロールタイプの違いが文章内容の空間的記憶に及ぼす影響/○石川 真(上越教育大学)
- B7-4 タンジブルユーザインタフェース教材の開発/○佐伯徳秀, 片山滋友(日本工学大学)
- B7-5 一筆書布線描画式電子回路エディタの開発/○芳田翔一郎, 新池一弘(舞鶴工業高等専門学校)
- B7-6 テルミンにおけるインターフェースの可能性/○小田将人, 対馬勝英(大阪電気通信大学大学院)
- B7-7 透視図法に基づいた描画スキル学習支援システムの構築/○小路正義丈, 曾我真人, 松田憲幸, 高木佐恵子, 瀧 寛和, 吉本富士市(和歌山大学システム工学研究科)

B8: 一般講演 「情報倫理」

【会場: G42】

座長: 田中规久雄(大阪大学), 宮本 勉(嘉悦大学)

- B8-1 「情報」教育と「公民」教育の連携 [I] -ジレンマ教材を活用して-/○河俣英美(大阪経済大学), 大日方重利(神戸学院大学)
- B8-2 教科「情報」履修者の知識と情報倫理意識/○西本実苗(関西学院大学), 河俣英美, 田中规久雄(大阪大学)
- B8-3 人間学部における情報リテラシー教育-2006年度入学生アンケートから-/○宮川祐一(仁愛大学人間学部)
- B8-4 「情報」教育と「公民」教育の連携 [II] -ジレンマ教材を活用して-/○河俣英美(大阪経済大学), 大日方重利(神戸学院大学)
- B8-5 「情報倫理とネットワークセキュリティ」の教育実践と PC 必携化/○松本豊司, 鈴木恒雄, 佐藤正英, 森 祥寛, 瀬川 忍(金沢大学総合メディア教育センター, 金沢大学 IT 教育推進プログラム)
- B8-6 情報スキルの向上の現状と提案(アンケートによる)/○宮本 勉, ○渡部綾子, 大橋いづ(嘉悦大学)
- B8-7 情報から観た労働意識とプロジェクト組織形成の可能性/○金山茂雄(拓殖大学商学部), 窪田 健一(静岡英和学院大学)

B9: 一般講演 「認知・メタ認知」

【会場: G51】

座長: 田村恭久(上智大学), 茅島路子(玉川大学)

- B9-1 概念関連マップを利用した知識形成のための形成的な行き来が可能なアノテーションシステムの試作/○掛川享一(兵庫教育大学大学院学校教育研究科), 難皮晃就, 伊丹 誠, 伊藤紘二(東京理科大学基礎工学部)
- B9-2 メタ認知能力獲得支援システムの開発/○平澤佳明(上智大学大学院理工学研究科), 田村恭久(上智大学理工学部)
- B9-3 図形の証明問題における解決過程と図形とを連携した図形エディタ/○加古順也(静岡大学大学院情報学研究科), 酒井三四郎(静岡大学情報学部)
- B9-4 集合知を生む教育情報システム- Web2.0 型教育のパイロットスタディ -/○河合勝彦(名古屋市立大学大学院)
- B9-5 デッサン学習者の視線分析とデッサン学習支援システムへの応用/○斎藤洋志, ○曾我真人, 松田憲幸, 高木佐恵子, 瀧 寛和, 吉本富士市(和歌山大学システム工学部)
- B9-6 情報倫理に基づく議論過程のオンライン可視化システム/○植野真臣, 岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究科)
- B9-7 メタ認知活動の負荷分散と漸増的負荷増大による小論文作成支援/○茅島路子(玉川大学文学部), 溝口理一郎(大阪大学産業科学研究所)

[3 日目]

8 月 25 日 (金) 9:00~11:30 研究会委員会企画セッション, 一般講演, ポスター/デモセッション

TA2: 企画セッション A(2) 「e ラーニング環境のデザインと実践」

【会場: B32】

オーガナイザ 松居辰則(早稲田大学), 仲林 清(NIT レゾナント株式会社)

- TA2-1 看護問題解決能力を育成する e ラーニング環境のデザインと実践/○真嶋由貴恵(大阪府立大学看護学部), 宗湯一郎(神戸製鋼所), 瀬田和久(大阪府立大学理学部)

- TA2-2 社会福祉実践教育におけるシミュレーション型実習教材の活用/戸塚法子, ○松山恵美子(淑徳大学総合福祉学部)
- TA2-3 「草の根eラーニング・システム整備事業」におけるブレンデッドeラーニングの実践/○樋田 稔(エスエイティエー㈱)
- TA2-4 B to Cでの大規模なeラーニングの実践と課題 -草の根eラーニングの取組み-/○伊藤健二, 松田岳士(慶應義塾大学DMC 統合研究機構), 宮本岩男(経済産業省), 坂元 昂(日本教育工学振興会)
- TA2-5 視線一致型TV会議システムを用いた遠隔教育の効果測定/○谷田貝雅典(蒲田女子高等学校), 坂井滋和(早稲田大学)
- TA2-6 テスト指向型eラーニングの実践 -企業における個人情報保護の周知徹底 -/○田中秀樹(株サンモアテック)
- TA2-7 e-learning 教材設計のためのアダプタビリティに関する基礎的研究/○永田奈央美, 岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究所)
- TA2-8 衛星とインターネット中継による双方向講義型遠隔授業の試み/○大島直樹, 松浦良行, 向山尚志, 上西 研(山口大学大学院技術経営研究科)
- TA2-9 スキルマネジメントに向けた能力情報のモデリング/○平田謙次(東洋大学, 電気通信大学)
- TA2-10 現職教員を対象としたインターネット型大学院のカリキュラムとその支援/○今井亜湖, 石渡哲哉, 小井土由光, 松川禮子, 杉森弘幸(岐阜大学教育学部), 加藤直樹(岐阜大学総合情報メディアセンター), 益子典文(岐阜大学教育学部)

TD:企画セッションD 「高等教育と生涯学習における ICT 活用」

【会場: B34】

オーガナイザ 黒瀬能幸(近畿大学), 米澤宣義(工学院大学), 磯本征雄(岐阜聖徳学園大学)

- TD-1 ホームページによる情報発信を題材にした地域情報化推進のための人材育成/○神谷勇毅, 磯本征雄, 伊藤 敏(岐阜聖徳学園大学大学院経済学情報研究科), 津森伸一(岐阜聖徳学園大学短期大学部)
- TD-2 電子掲示板(BBS)上のコミュニケーション活動に対するネットワーク分析とその契機意義/○安武公一(広島大学大学院), 多川孝央(九州大学情報基盤センター), 山川 修(福井県立大学情報センター), 井上 仁(九州大学情報基盤センター)
- TD-3 神戸市看護大学における臨地教育を支援するネットワークについて/○多井 剛, 斎藤真一(株式会社ケーシーエス), 長野勝利(神戸市看護大学)
- TD-4 教室とe-Learningをシームレスにつなぐユビキタス授業支援の提案/○光原弘幸, 緒方広明(徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部), 金西計英(徳島大学高度情報化基盤センター), 矢野米雄(徳島大学ソシオテクノサイエンス研究部)
- TD-5 音声認識を利用した第二言語学習の為にプロソディ支援システム/○小松崎聖, 中村 宏, 倉山めぐみ(東京理科大学基礎工学部), 掛川淳一(兵庫教育大学学校教育学部), 伊丹 誠, 伊藤紘二(東京理科大学基礎工学部)
- TD-6 多地点・双方向遠隔講義環境におけるインタラクティブ英語講義の試み/○越智洋司(近畿大学理工学部), 江藤由布(近畿大学附属高等学校), 井口信和, 溝沼昭二(近畿大学理工学部), 白石善明(名古屋工業大学大学院), 森 正寿(近畿大学産業理工学部), 徐 丙鉄, 黒瀬能幸(近畿大学理工学部), 佐野 到, 向井苑生(近畿大学理工学部)

TE:企画セッションE 「Web技術・Webリソースの学習・教育活用」

【会場: B41】

オーガナイザ 柏原昭博(電気通信大学), 佐々木整(拓殖大学)

- TE-1 個別指導エージェントによる適応型eラーニングシステムの開発と評価/○庄司慶市, 上野春毅, 小松川浩(千歳科学技術大学)
- TE-2 中学校数学授業のデジタル化とその教育実践/○荒川 昭(慶應義塾普通部)
- TE-3 防災研究資料の統合型検索システムの構築について/○松浦秀起, 辰己賢一, 高山鏡朗, 和田博夫, 福岡麻少世, 平野憲雄(京都大学防災研究所)
- TE-4 芸術画像の認知拡張を支援するWebベース教育システムの提案/○胡 龍, 孫 曉萌, 酒井徹朗(京都大学大学院)
- TE-5 研究活動を支援するポータルサイトの構築/○長谷川忍(北陸先端科学技術大学院大学), 柏原昭博(電気通信大学)
- TE-6 Webコンテンツの学習支援を目的としたメタナビゲータの開発/○塚本寛之, 柏原昭博(電気通信大学情報通信工学科)
- TE-7 キーワードを付加したWeb地図システムの設計・構築/○櫻田一聡, 植野真臣, 岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究所)
- TE-8 学習履歴マイニングによるナビゲーションプランニングのScaffolding手法/○太田光一, 中谷充敏, 柏原昭博(電気通信大学)
- TE-9 グループ学習支援のための知的e-Notebookシステムの開発/○万 欣, 二宮利江, 植野真臣, 岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究所)
- TE-10 ビデオ学習のための同期・非同期型グループ学習システム【1】/平井和人(アイネス㈱), ○小山達也, 米澤宣義(工学院大学)

TF:企画セッションF 「情報教育で何を育成するか?」

【会場: B44】

オーガナイザ 松永公廣(摂南大学), 西野和典(九州工業大学)

- TF-1 高等学校における情報教育の新しい形 -いいたみ商店街活性化プロジェクト-/○佐藤孝史, 中條道雄, 畑井克彦(関西学院大学), ○荒木俊輔(伊丹市立伊丹高等学校)
- TF-2 教科「情報」におけるプログラミング言語の位置づけと実習方法について -情報科高等学校における高大一貫教育の実践を中心に-/○築 雅之, 竹本直弘(高崎商科大学流通情報学部)
- TF-3 グラフ文法による拡張ライフゲームの記述と情報教育における利用の提案/○志水 幸, 二宮利江(電気通信大学大学院情報システム学研究所), 夜久竹夫(日本大学文学部), 岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究所)
- TF-4 “コンピュータにおける情報の処理”分野向けの学習プログラム -マジカル・スプーンで飛行船制御-/○香山瑞恵(専修大学), 二上貴夫(株式会社東陽テクニカ)
- TF-5 歯科衛生士教育分野での情報教育/○知念正剛(福岡医療短期大学歯科衛生学科)

- TF-6 情報教育に対応する国語表現学習環境の設計/○坂田兼統(神戸大学大学院総合人間学研究所), 中村吉秀(福井工業高等専門学校)
 TF-7 高校教科「情報」と情報リテラシー習得/○岡部成立, 布施 泉(北海道大学情報基盤センター)

C1: 一般講演 「実践 (3)」

【会場: G31】

座長: 藤井 諭(松江工業高等専門学校), 斐品正照(東京国際大学)

- C1-1 事前学習と実地学習を組み合わせた史跡学習システムの開発/○高橋勇佑, 青山博一, 景山久義, 藤井 諭(松江工業高等専門学校)
 C1-2 Java3Dを用いた実道湖環境学習システムの開発/○青山博一(松江工業高等専門学校), 三浦由佳(アドクリエーション(株)), 祖田 将, 藤井 諭(松江工業高等専門学校)
 C1-3 情報の表現についての指導法の改善/○潘 陽, 江島徹郎, 大西研治(愛知教育大学)
 C1-4 大学一般情報教育へのCG教育導入の可能性/○皆川雅章(札幌学院大学)
 C1-5 自動採点システムを利用したビジネス文書演習/○那須清弘, 榊井 猛, 梶木克則(甲子園大学現代経営学部)
 C1-6 プログサービズを利用したウェブ制作演習の実践報告/○田中洋一(仁愛女子短期大学生生活科学学科)
 C1-7 大規模仮想計算機演習室を利用したネットワークの基本知識の学習支援に関する研究/○中川泰宏, 浮貝雅裕, 三井田博郎(千葉工業大学情報科学部)
 C1-8 教科「情報」の実施前後における文科系大学生の論理回路に関する意識の比較/○三池克明(尚美学園大学), 斐品正照(東京国際大学)
 C1-9 論理回路学習キットのユーザビリティを踏まえた開発と文科系大学生を対象にした実証実験/○三池克明(尚美学園大学), 斐品正照(東京国際大学)

C2: 一般講演 「情報教育 (2)」

【会場: G32】

座長: 野崎浩成(愛知教育大学), 中條道雄(関西学院大学)

- C2-1 米国の高等学校における情報教育の現状と課題/○中條道雄(関西学院大学), 西野和典(九州工業大学)
 C2-2 高等学校「数学」と情報教育-大学入試センター試験(数学)を題材として-/○新田眞一(四條畷学園短期大学), 江見圭司(京都情報大学院大学, 京都コンピュータ学院), 中西洋彦(神戸常盤女子高等学校)
 C2-3 普通教科「情報」に対する高校生の意識-文系と理系による相違-/○野崎浩成, 高木友美, 梅田恭子, 江島徹郎(愛知教育大学教育学部)
 C2-4 教科「情報」を履修した学生のPCに対する自信度比較調査/○栢木紀哉(鹿児島県立短期大学), 上田千恵(旭川旺厚生専門学院), 若林義啓(岡山大学), 井原 零(くらしき作陽大学)
 C2-5 新年度入学生における情報処理スキルの自己評価-一女子大学文系学部の場合-/○東野勝治(平安女学院大学人間社会学部), 中村勝則(平安女学院大学短期大学部)
 C2-6 文系大学における情報教育入門期の指導内容と方法に関する一考察/○美濃守隆, 田端矢一郎(常磐会学園大学)
 C2-7 情報教育における司書教諭の可能性に関する検討-教科「情報」との比較の観点から-/○福本 徹(国立教育政策研究所)
 C2-8 教科「情報」履修者と未履修者の比較/○河俣英美(大阪経済大学), 西本美苗(関西学院大学), 田中規久雄(大阪大学)
 C2-9 教科「情報」に対する学生の評価と習熟度自己評価との関係/○原田 章(甲子園短期大学), 景村幸弘, 菅澤拓生(甲子園大学大学院), 中西通雄(大阪工業大学)

C3: 一般講演 「プログラミング (1)」

【会場: G41】

座長: 伊藤 敏(岐阜聖徳学園大学), 若林 茂(神戸市立工業高等専門学校)

- C3-1 画像処理学習のためのプログラミングシミュレーション教材の開発/○林 大作, 中村直人(千葉工業大学大学院情報科学研究科)
 C3-2 EclipseRCPとサーバサイト実行を利用したプログラミング学習支援環境の構想/○三本優介(香川大学大学院工学研究科), 香川考司(香川大学工学部)
 C3-3 Excelによる、見て・聞いて・触れるプログラミング動機付け教材-インターネット環境で-/○伊藤 敏(岐阜聖徳学園大学経済情報学部), 井上祥史(岩手大学教育学部)
 C3-4 ソフトウェアテスト学習支援のためのテストケース判定システム/○清水寛美(静岡大学大学院情報学研究科), 酒井三四郎(静岡大学情報学部)
 C3-5 ICGOプログラミングコンテストにおける課題の分析と演習授業計画/○大西洋平, 富永浩之(香川大学工学部), 林 敏浩(香川大学総合情報基盤センター), 山崎敏範(香川大学工学部)
 C3-6 プログラミング学習支援を目的とした3Dアニメーション作成環境プラグインの開発/○土井裕司(香川大学大学院工学研究科), 香川考司(香川大学工学部)
 C3-7 自動販売機をテーマとした情報処理教育-フローチャートに注目して-/○浅羽修丈(神戸大学大学院), 横山 宏, 森石峰一, 稲浦隆, 高橋浩一, 三井慎子, 神守悠介, 石柘正士(大阪電気通信大学)
 C3-8 プログラム間の類似性に関する研究/○井上晴富, 若林 茂(神戸市立工業高等専門学校)
 C3-9 アルゴリズムを教育するためのWBT教材の開発と評価/○山本 芳人(東京理科大学理学部), 広瀬 啓雄(諏訪東京理科大学経営情報学部)

C4：一般講演 「マルチメディア・バーチャリアリティ」

【会場：G42】

座長：家本 修(大阪経済大学)，松下孝太郎(東京情報大学)

- C4-1 CG素材を取り入れたデジタル教材作成教育の実践／○年森敦子(鎌倉女子大学)，松下孝太郎(東京情報大学)
- C4-2 3D立体表示によるアニメーション，演習形式コースウェアを用いた地理・地学教育支援教材について／○吉野大輔(日本大学文理学部)，赤木剛朗(芝浦工業大学)，上原慎也(日本大学文理学部)，志水 幸(電気通信大学)，土田賢省(東洋大学)，宮寺甫造(東京学芸大学)，夜久竹夫(日本大学文理学部)
- C4-3 ノンリアリティな視覚表現を取り入れた初等力学実験のVR教材 Interlude／○花房佑馬，富永浩之(香川大学工学部)，林 敏浩(香川大学総合情報基盤センター)，山崎敏範(香川大学工学部)
- C4-4 力覚刺激における遅延と視覚情報の影響について／○Jean-Baptiste Vasseur(千葉工業大学大学院)，大西 仁(独立行政法人メディア教育開発センター)，中村直人(千葉工業大学)
- C4-5 VR技術を用いた構造力学教育支援システム—力覚を利用した片持ち梁の提示—／○三宅 慧(東京理科大学基礎工学部)，石川智巳(電力中央研究所地球工学研究所)，原田哲也(東京理科大学基礎工学部)
- C4-6 共有バーチャル空間を用いた磁場の体験型学習支援システム—比較学習及び自体験学習機能の付加—／○津野吉徳，原田哲也(東京理科大学基礎工学部)
- C4-7 遠隔教育におけるバーチャリアリティ導入の試み／○山下倫範，後藤真太郎，櫻井広幸，酒井聡一，東川昌之，石松明長，藤村 哲，川田雅広，田中典子(立正大学)，福澤敏典，安部和弘(桐富士通)，室本秀行(FJE)，菅野智文(FPC)，神部勝之，鯨島正夫(ソリッドレイ研究所)
- C4-8 マルチメディアを利用した企業内旋盤加工技能者育成の過程分析／○中平勝子(長岡技術科学大学)，横山淳一(フジノン株)
- C4-9 体験型学習を志向した反力デバイスを用いた初等力学の実験環境／○松原行宏(広島市立大学情報科学部)

C5：一般講演 「知的学習支援」

【会場：G51】

座長：福田真規夫(大阪国際大学)，林 雄介(大阪大学)

- C5-1 学習支援システムにおける知的学習ナビゲーションの研究／福田真規夫(大阪国際大学)，○矢嶋虎夫(東亜大学)
- C5-2 0-Logoを用いた住宅設計学習環境／○谷田一真(知的クラスター)，対馬勝英(大阪電気通信大学)，木田 豊(GK京都)
- C5-3 知的教育システムにおける実用的教材知識ベースと問題解決器の構築—高校化学を題材として—／○井嶋那奈(静岡大学大学院情報研究科)，小西達裕(静岡大学情報学部)，伊東幸宏(静岡大学創造学技術大学院情報学部)
- C5-4 体験を重視した仮想実験環境を共有する初等力学学習支援システム／○濱中啓至，松原行宏，岩根典之(広島市立大学大学院)
- C5-5 エージェントによる会話モデルの構築／○東小路雅彦，新池一弘(舞鶴工業高等専門学校)
- C5-6 テキストマイニング技術と教育現場への応用／○桑原敏樹(株式会社システム)
- C5-7 プログラムの問題領域での動作説明を行う学習支援システムにおけるモニタリング処理への対応／○相澤直人(静岡大学情報学部)，安間文彦(電気通信大学大学院情報システム学研究所)，小暮 悟，小西達裕，伊東幸宏(静岡大学情報学部)
- C5-8 マイクロワールドグラフにおける移行タスクとその自動生成／○東本崇仁(広島大学)，堀口知也(神戸大学)，平嶋 宗(広島大学)
- C5-9 Linuxの利用状況を用いた学生の自習時間の把握方法／○山内建二，平岡一剛(大阪工業大学情報センター)，斉藤 隆，内藤広志，中西通雄(大阪工業大学情報科学部)

PDA：ポスター／デモセッションA

【会場：G52】

- PDA-1 オープンソースソフトウェアのLMS「Moodle」のための教材自動登録ツール「MooDoor」の開発／○秋山 實(合資会社eラーニングサービス)
- PDA-2 e-learning環境における字形認知漢字学習システムの利用評価／○柳 定浩(東京外国語大学)，林 俊成(尚美学園大学)
- PDA-3 認定看護師研修センター受講生のコンピュータ・リテラシー—1期生を対象とした調査の結果から—／○島山彰文(北海道医療大学)
- PDA-4 描画法による理科教育を支援する反復再生可能型描画システムPolka／○林 敏浩(香川大学総合情報基盤センター)，中山 迅(宮崎大学教育文化学部)

8月25日(金)12:30~13:20 特別講演2

【会場：C31】

- L-3 「IT革命と人材育成(イノベーション、OSS、IT人材の育成)」
講師：鍛冶克彦(経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課長)

[3日目]

8月25日(金)13:30~15:30 一般講演，ポスター／デモセッション

D1：一般講演 「eラーニング(2)」

【会場：B32】

座長：柏原昭博(電気通信大学)，植野真臣(電気通信大学)

- D1-1 eLearningビデオコンテンツの復習を支援するStretchvideo手法／○柏原昭博，野呂翔太(電気通信大学情報通信工学科)
- D1-2 Webサービスを用いた学習者適応型分散eラーニング環境／○山室 健(上智大学大学院理工学研究科)，田村恭久(上智大学理工学部)

- D1-3 特別支援教育における指導スキル向上を目的とした協働型eラーニングの実践/○永森正仁(長岡技術科学大学マルチメディアシステムセンター), 能登 宏(新潟大学附属養護学校), 長澤正樹(新潟大学教育人間科学部), 植野真臣(電気通信大学大学院情報システム学研究所)
- D1-4 教育の質保証を目指すeラーニングプログラムの検証/○合田美子, 岩崎文明(青山学院大学総合研究所), 新目真紀(サバソフトウエア)
- D1-5 社会人に対する大学院講義のeラーニング配信実践/○中平勝子, 鈴木誠治, 木村哲也, 福村好美(長岡技術科学大学)
- D1-6 アイマークレコーダを用いたeラーニングにおけるポイント提示の有効性についての分析/○安藤倫洋, 植野真臣, 岡本敏雄(電気通信大学大学院情報システム学研究所)

D2: 一般講演 「遠隔教育」

【会場: B34】

座長: 越智洋司(近畿大学), 松河秀哉(大阪大学)

- D2-1 顔認識技術を利用した遠隔受講者確認システムの提案/○大西佑樹(近畿大学大学院総合理工学研究所), 越智洋司(近畿大学理工学部), 白石善明(名古屋工業大学大学院工学研究科), 井口信和, 向井苑生(近畿大学理工学部)
- D2-2 遠隔教育システムを用いたGIS教育環境の構築とGIS教育方法の検証/○酒井聡一, 後藤真太郎, 山下倫範(立正大学地球環境科学部), 櫻井広幸(立正大学心理学部)
- D2-3 3者間(教師・生徒・保護者)の情報交流を目指したグループウェアの開発/○中山 洋, 山口正二(東京電機大学理工学部), 阪本康之(筑波大学坂戸高等学校)
- D2-4 主体的な学びを目指した遠隔ゼミにおけるメディアの影響/○村上正行(京都外国語大学マルチメディア教育研究センター), 山田剛史, 酒井博之(京都大学高等教育研究開発推進センター), 神藤貴昭(徳島大学大学開放実践センター)
- D2-5 遠隔講義向け動画配信へのリレー型ネットワークの適用に関する考察/○初山武士(近畿大学大学院総合理工学研究所), 白石善明(名古屋工業大学大学院工学研究科), 越智洋司, 井口信和, 向井苑生(近畿大学理工学部)
- D2-6 遠隔講義への利用を考慮した立体視動画配信の提案/○横前拓磨(近畿大学大学院総合理工学研究所), 井口信和(近畿大学理工学部), RafaelSierra(和歌山大学大学院システム工学研究科), 内尾文隆(和歌山大学システム情報学センター), 越智洋司(近畿大学理工学部), 白石善明(名古屋工業大学大学院工学研究科), 向井苑生(近畿大学理工学部)
- D2-7 「超鏡」における映像遅延の影響/○重田勝介(大阪大学大学院人間科学研究科), 松河秀哉(大阪大学大学院教育実践センター), 中澤明子, 前迫孝憲(大阪大学大学院人間科学研究科)
- D2-8 演習重点型WBTシステムの開発と評価/○難皮道弘(山梨英和大学), 澤田隆幸(山梨県富士北稜高等学校)

D3: 一般講演 「学習環境」

【会場: B41】

座長: 浮貝雅裕(千葉工業大学), 長谷川忍(北陸先端科学技術大学院大学)

- D3-1 仮想計算機を利用した次世代型大規模演習教育環境の構築/○浮貝雅裕, 中川泰宏(千葉工業大学情報科学部)
- D3-2 情報科実習設備レイアウトと指導内容/○龍 昌治(愛知大学短期大学部)
- D3-3 携帯電話等のメールを利用した学習目的の把握の促進により教育の活性化を実現するツール「InterGence」の開発と実践/木島 武, ○松本健司, 中田裕貴(株式会社SCC)
- D3-4 ソーシャルブックマークにおけるブックマーク間のリンクに基づく探求学習支援/○井手隆三(徳島大学大学院先端技術科学教育部), 三好康夫, 矢野米雄(徳島大学ソシオレクノサイエンス研究部)
- D3-5 講義映像資料に対する全文検索システムの開発/○山下 博, 獅々堀正幹, 緒方広明, 幸田一輝, 北 研二(徳島大学工学部)
- D3-6 講義アーカイブを活用した学習支援環境の実践/○長谷川忍(北陸先端科学技術大学院大学遠隔教育研究センター), ニソ寺政友(北陸先端科学技術大学院大学情報科学センター), 但馬陽一, 安藤敏也(北陸先端科学技術大学院大学遠隔教育研究センター)
- D3-7 直取型ネットワーク構築によるキャンパスLANの構築と運用/○中村直人(千葉工業大学情報科学部)

D4: 一般講演 「ゲーム・シミュレーション」

【会場: B44】

座長: 吉川博史(太成学院大学), 榎井 猛(甲子園大学)

- D4-1 動的問題の対面講義におけるシミュレーション教材の活用/○藤川 猛, 塚本邦昭, 吉田祐治(芦屋大学)
- D4-2 MacromediaFlashを用いたゲーム制作の演習(3)/○榎井 猛, 梶木克則, 那須精弘(甲子園大学現代経営学部)
- D4-3 情報システムに関するシミュレータ教材の開発/○石川正敏, 堀 大, 品川徳秀, 金子敬一, 藤田孝弥(東京農工大学大学院工学府)
- D4-4 3D物体落下シミュレータの開発/○福井 隆, 新池一弘(舞鶴工業高等専門学校)
- D4-5 カードゲームにおけるカードと学習要素の類似性を利用した学習ゲーム生成/○梅津孝信(九州工業大学), 平嶋 宗(広島大学), 竹内 章(九州工業大学)
- D4-6 ケータイを利用した参加体験型ゲームシステムの開発:パイロットスタディを通じた教育利用への可能性/○竹中真希子(大分大学教育福祉科学部附属教育実践総合センター), 大久保正彦, 稲垣成哲(神戸大学発達科学部), 黒田秀子(神戸大学発達科学部附属住吉小学校)
- D4-7 コンピュータ・ゲームを用いた知的資質の評価方法—情報教育の充実を目指して—/○近松 亮, 磯本征雄, 伊藤 敏(岐阜聖徳学園大学経済情報研究科), 津森伸一(岐阜聖徳学園大学短期大学部)

D5: 一般講演 「実践 (4)」		【会場: G31】
		座長: 谷口り子(大阪国際大学短期大学部), 榎本淳子(大阪経済大学)
D5-1	Web 教材の利用のされ方とその利用が学習者に与える効果/○谷口り子(大阪国際大学短期大学部)	
D5-2	高等教育関連コンテンツの大学機軸型評価と視覚化表現/○北垣郁雄, 有本 章(広島大学大学院教育学研究科)	
D5-3	中学校における CMS を利用した新聞のコラム読みが読解力に与える効果—選択式の問題作りを通して—/○木村千夏, 伊奈 諭(兵庫教育大学大学院)	
D5-4	CMS 上のモジュール化された VOD 教材を用いた CG 基礎教育の実践報告/○松本 哲(京都情報大学院大学, 京都コンピュータ学院, 信州大学大学院), 島 尚徳, 宇田敏彦(京都コンピュータ学院)	
D5-5	院内学級における CMC 活動とその評価/○吉田 徹(札幌市立北辰中学校), 西堀ゆり, 山本 裕一(北海道大学情報基盤センター)	
D5-6	院内学級の情報化とベッドサイドティーチングの試み/○山本裕一, 西堀ゆり(北海道大学情報基盤センター), 吉田 徹(札幌市立北辰中学校)	
B2-4	大学入学者の学力の多様化への対策としての数学 WBL 教材の開発/○貴田研司, 柴田正憲(東海大学短期大学部情報・ネットワーク学科)	

D6: 一般講演 「第 2 言語」		【会場: G32】
		座長: 脇田里子(同志社大学), 前迫孝憲(大阪大学)
D6-1	日本語教育における論理的思考を養うためのロジック・チャート利用/○脇田里子(同志社大学留学生別科), 越智洋司(近畿大学理工学部)	
D6-2	語学系学科の学生に対する実践的情報教育の試み/○高原尚志(県立新潟女子短期大学)	
D6-3	音声の音符化による英語教育支援システムの開発/○溝沼昭二(近畿大学理工学部情報学科), 江藤由布(近畿大学附属高等学校), 上田拓実, 大嶋智純, 井口信和(近畿大学理工学部情報学科), 越智洋司(近畿大学理工学部電気電子工学科), 白石善明(名古屋工業大学大学院工学研究科), 佐野 到, 向井苑生(近畿大学理工学部情報学科)	
D6-4	第二言語学習の為の表現獲得支援システム/○中村 宏, 小松崎聖(東京理科大学基礎工学部), 掛川淳一(兵庫教育大学学校教育学部), 伊丹 誠, 伊藤弘二(東京理科大学基礎工学部)	
D6-5	言語運用上の制約でガイドする自動詞用例提示の一方法/竹内 豪(東京外国語大学地域文化研究科), ○中野孝彦, 佐野 洋(東京外国語大学外国語学部)	
D6-6	センサネットワークを用いた聴能言語学習支援/○近藤智央, 股 成久, 緒方広明, 矢野米雄(徳島大学工学部)	
D6-7	留学生のためのモバイル日本語学習支援システムの構築/○和田 誠, GanLiHui, 股 成久, 緒方広明(徳島大学工学部), 上田崇仁, 大石寧子(徳島大学留学生センター), 矢野米雄(徳島大学留学生センター)	
D6-8	学習サイクルに基づく英文読解学習支援システムの開発/○井川 勉, 橋本匡史, 岩田 淳, 藤井 諭(松江工業高等専門学校)	

D7: 一般講演 「プログラミング (2)」		【会場: G41】
		座長: 野村典子(武庫川女子大学), 細井真人(大阪経済大学)
D7-1	ボードゲーム五五の単独を題材とした大会形式の Java プログラミング演習/○尾崎浩和, 富永浩之(香川大学工学部), 林 敏浩(香川大学総合情報基盤センター), 山崎敏範(香川大学工学部)	
D7-2	グラフアルゴリズムの演習支援システムの開発/○伊藤凌鹿, 稲垣 宏(豊田工業高等専門学校)	
D7-3	実行テストを用いたコンテスト形式の入門的 C プログラミング演習/○倉田英和(香川大学工学部), 富永浩之, 林 敏浩(香川大学総合情報基盤センター), 山崎敏範(香川大学工学部)	
D7-4	CG プログラミングにおけるデバッグ対策の一考察/郡山 彬, ○峯崎俊哉(東海大学理学部)	
D7-5	セキュア OS を用いた Web ベースの C 言語学習支援環境の構想/○高井康浩(香川大学大学院工学研究科), 香川考司(香川大学工学部)	
D7-6	Visual 系言語を用いて現実のソフトウェアを開発する循環型学習サークル/○野村典子(武庫川女子大学生生活環境部)	

D8: English セッション		【会場: G42】
		座長: 永岡慶三(早稲田大学), 西端律子(大阪大学)
D8-1	Pedagogical Implicationsofa Multilateral Distance Class between China, Koreaand Japan/○Yuri Nishihori (Hokkaido University), Keizo Nagaoka (Waseda University), Takako Akakura (Tokyo University of Science), Nozomu Nishinaga (National Information & Communications Technology), Kenji Tanaka, Yuichi Yamamoto, Haruhiko Sato (Hokkaido University), Masahiro Harada (Tokyo Electron Limited)	
D8-2	Using WeEQas Human Interfacefor Dealing with Formulasina Computer-Assisted Learning-by-Problem-Solving Environment. /○Michael Szepanski (University of Wismar, Germany), Kenji Hasegawa, Makoto Itami, Kohji Itoh (Tokyo University of Science, Japan)	
D8-3	M-learningthrough FM Radio Function Embededin MobilePhones/○Wang Shudong (Hiroshima Shudo University)	
D8-4	Methodology for Constructinge-Learning Systems : Followingane-Pedagogical Approachas Contraststo Traditional Software Engineering /○Michael Schaefer (Paedagogische Hochschule Ludwigsburg, Germany), Toshiaki Honda (Ibaraki University, Japan)	

PDB-1 手書きによるコミュニケーションに基づく協調学習支援システム/長谷川健治(東京理科大学), 掛川淳一(兵庫教育大学), 伊丹 誠, 伊藤紘二(東京理科大学)

PDB-2 学習目的のソーシャルネットワーキングサイトの開発/吉崎弘一(園田学園女子大学)

PDB-3 高校教科「情報」と情報リテラシ習得/岡部成玄, 布施 泉(北海道大学情報基盤センター)

8月25日(金) 15:40~17:30 パネル討論会 II

P2 パネル討論会II

【会場: C31】

「知の創成と人材育成」

司会 : 家本 修 (大阪経済大学)

パネリスト: 西之園晴夫 (佛光大学), 前迫孝憲 (大阪大学), 役 誠雄 (株式会社富士通), 阪井和男 (明治大学)

発表者へのお願い

一般発表は、1人持ち時間15分です

第1鈴 10分(予鈴)

第2鈴 12分(発表終了)

第3鈴 15分(質疑終了)

企画セッションの持ち時間は以下の通りです。

企画セッション A1, A2: 発表時間 12分, 質疑応答 3分

企画セッション B: 発表時間 12分, 質疑応答 3分

企画セッション C: 発表時間 12分, 質疑応答 3分

企画セッション D: 発表時間 15分, 質疑応答 5分

企画セッション E: 発表時間 12分, 質疑応答 3分

企画セッション F: 発表時間 15分, 質疑応答 5分

- Microsoft Power Point、PDFは使用出来ますが、USBフラッシュメモリーなどをご持参下さい。
- ノートパソコンを接続希望の方は、RPG15ピンケーブルをご持参下さい。
- 他の発表者の方の写真撮影、録音はご遠慮下さい。

新入会員の紹介

新入会員（敬称略）

(会員No.)	(氏名)	(所属機関)	(会員種別)
JSiSE-A0502486	山本 雅昭	広島経済大学	正会員
JSiSE-A0502487	徳田 誠	弓削商船高等専門学校	正会員
JSiSE-A0502488	板谷 道信	川崎医療短期大学	正会員
JSiSE-A0502489	大野 恵理		准会員
JSiSE-A0502490	邢 振雷		准会員
JSiSE-A0502491	藤本 義博	岡山県情報教育センター	正会員
JSiSE-A0502492	宮崎 佳典	静岡大学	正会員
JSiSE-A0502493	吉村 智史	関西大学大学院	准会員
JSiSE-A0502494	豊永 正人	日立ソフトウェアエンジニアリング株式会社	准会員
JSiSE-A0502495	和高 慶夫	玉川大学	正会員
JSiSE-A0502496	辻 利則	宮崎公立大学	正会員
JSiSE-A0502497	平本 健二	ウィドランド株式会社	正会員
JSiSE-A0502498	米満 潔	国立大学法人 佐賀大学	正会員
JSiSE-A0502499	齋藤 ひとみ	愛知教育大学	正会員
JSiSE-A0502500	中野 健次	SAMSUNG ELECTRONICS Co., LTD	正会員
JSiSE-A0502501	藤代 昇丈	岡山県情報教育センター	正会員
JSiSE-A0502502	福井 一泰	静岡大学	准会員
JSiSE-A0502504	三川 荘子		准会員
JSiSE-A0502505	三田 満男	城西医療技術専門学校	正会員
JSiSE-A0502506	森田 和夫	社団法人 日本教育工学振興会	正会員
JSiSE-A0502507	肖 双		准会員
JSiSE-A0502509	多田 有起	明治大学大学院	准会員
JSiSE-A0502510	大竹 由美子	青山学院大学	正会員
JSiSE-A0502511	高橋 哲夫	聖カタリナ大学	正会員
JSiSE-A0502512	宇野 令一郎	熊本大学	准会員
JSiSE-A0502513	望月 久稔	大阪教育大学	正会員
JSiSE-A0502514	桐山 和彦	鳥羽商船高等専門学校	正会員
JSiSE-A0502515	大橋 弘友紀	静岡大学	正会員
JSiSE-A0502516	加古 順也	静岡大学	准会員
JSiSE-A0502517	鈴木 航太	静岡大学	准会員
JSiSE-A0502518	越山 修		正会員
JSiSE-A0502519	木村 宏	NTTラーニングシステムズ株式会社	正会員
JSiSE-A0502520	川西 雪也	千歳科学技術大学	准会員
JSiSE-A0502521	佐伯 徳秀	日本工業大学	准会員
JSiSE-A0602522	多賀 万里子	富士通株式会社	正会員
JSiSE-A0602523	大山 義弘	愛知教育大学	准会員
JSiSE-A0602524	李 凱	東京工業大学	准会員
JSiSE-A0602525	伊藤 義剛	長岡技術科学大学	正会員
JSiSE-A0602526	西山 恵洋	リコーテクノシステムズ株式会社	准会員
JSiSE-A0602527	新ヶ江 登美夫	中村学園大学	正会員
JSiSE-A0602528	村嶋 亮一	熊本大学大学院	准会員
JSiSE-A0602529	塚本 邦昭	芦屋大学	正会員
JSiSE-A0602530	和崎 克己	信州大学	正会員
JSiSE-A0602531	藤塚 邦男	上越教育大学	准会員
JSiSE-A0602532	徳屋 下 茂	佐賀大学	正会員
JSiSE-A0602533	柳 定浩	東京外国語大学	准会員
JSiSE-A0602534	森 朋子	大阪大学	准会員
JSiSE-A0602535	庄司 慶市	千歳科学技術大学	准会員
JSiSE-A0602536	田邊 則彦	慶応義塾湘南藤沢中・高等部	正会員
JSiSE-A0602537	松本 健司	株式会社SCC	正会員
JSiSE-A0602538	豊川 和治	日本大学	正会員
JSiSE-A0602539	相澤 直人	静岡大学	准会員
JSiSE-A0602540	吉田 徹	札幌市立北辰中学校	正会員
JSiSE-A0602541	合川 正幸	北海道大学	正会員
JSiSE-A0602542	Michael SCHAEFER	茨城大学	正会員
JSiSE-A0602543	阪井 和男	明治大学	正会員
JSiSE-A0602544	磯貝 恵美子	株式会社デンソー	正会員
JSiSE-A0602545	中野 裕司	熊本大学	正会員
JSiSE-A0602546	新 茂則	中村学園大学	正会員
JSiSE-A0602547	小貫 睦巳	千葉・柏リハビリテーション学院	正会員
JSiSE-A0602548	権藤 俊彦	青山学院大学	准会員
JSiSE-A0602549	合田 美子	青山学院大学	正会員

2005年度/2006年度新入会員（2006年3月21日～2006年7月26日）

教育システム情報学会(JSiSE)

2006 年度第3回研究会 開催案内

テーマ：学習の身体性とマルチモーダルインタフェース（音声言語インタフェース含む）／一般担 当：研究会委員会 小西達裕（静岡大学），平嶋 宗（広島大学）

■開催日時：2006年9月15日（金） 13:00～17:10

■会 場：東京理科大学（東京，神楽坂） 理窓会館 4階第3会議室
<http://risoukai.rikudai.jp/risoukai/activities/hall.html>

■問合せ先：小西達裕（E-mail: konishi@inf.shizuoka.ac.jp）

※事前の参加申し込みは不要です。

■主旨：

「身体性」が人の知，そしてその知を獲得する過程としての学習において，大きな役割を果たしていることが近年注目されるようになってきている。学習支援システムの観点においても，学習や知の身体性を踏まえた上でのシステム設計・開発の試みがなされるようになってきている。本研究会では，「学習の身体性とマルチモーダルインタフェース」をテーマとし，学習や知の身体性を踏まえた学習支援システムの設計・開発やその基盤となるモデル，あるいはそのような支援を行なう上での要素技術となるマルチモーダルインタフェースなどに関する研究発表と議論を行う。またこのテーマにとらわれず，先進的技術を用いた教育システムに一般に関する研究発表と議論を行うセッションも設ける。

■研究会 Web ページ

<http://risky.cs.inf.shizuoka.ac.jp/konishi/jsise/jsise060915.html>

■研究会プログラム（時間等は変更の場合があります。最新情報は上記 Web ページをご参照ください）

（1）13:00～13:30

デッサン学習者の視線動作分析と認識・動作の診断助言が可能なデッサン学習支援システムへの応用

斎藤洋志，古賀俊廣，和田隆人，○曾我真人，松田憲幸，高木佐恵子，瀧寛和，吉本富士市（和歌山大学）

一般に、芸術やスポーツなどのスキルの上達には、認識、行動、認識と行動の対応づけ、の3点について向上をはかる必要がある。芸術の場合は、この3点の結果として、成果物（作品）が作成される。筆者らは、デッサン学習において、これまで成果物である描かれたデッサン画の診断助言システムの構築を行ってきた。本発表では、デッサン時の視線や腕の動作に注目し、それらを診断の対象とし、スキルの向上に役立てるシステムの構築について考察する。

（2）13:30～14:00

テキストと音声再生に関連づけた音声プロソディの表示による第二言語表現獲得の支援

○中村 宏，小松崎 聖，倉山 めぐみ（東京理科大学），掛川 淳一（兵庫教育大学），伊丹 誠，伊藤 紘二（東京理科大学）

我々は総合的な第二言語学習支援環境において、模範音声の再生と同期したプロソディの表示と、学習者の後追い発話の分析結果との比較による音声言語上の支援を提案している。

【休憩 20分】

(3) 14:20~14:50

体験型学習を志向した反力デバイスを用いた初等力学の実験環境について

○松原行宏, 岩根典之 (広島市立大学)

VR技術を積極的に活用した学習支援システムの開発が盛んになってきた。特に、学習者に力のフィードバックを与える事が可能な反力デバイスを用いたシステムは、直接学習者の感性に直感的に訴えかける事ができ、特に力学系の教材での活用が期待される。本発表では体験型学習を志向した反力デバイスを用いた初等力学の実験環境のプロトタイプシステムの開発をいくつか行ったので、その概要について報告する。

(4) 14:50~15:20

共有バーチャル空間を用いた磁場の体験型学習支援システム

○津野 吉徳, 原田 哲也 (東京理科大学)

共有バーチャル空間を用いて、他の学習者と体験を共有し、視覚、力覚情報により、抽象的な概念である電流のつくる磁場を直感的に学ぶことのできる協調型の学習環境について報告する。

【休憩 20分】

(5) 15:40~16:10

聴覚障害者の情報保障のための遠隔パソコン要約筆記システムの提案

○湯瀬裕昭 (静岡県立大学/東北学院大学), 石川准 (静岡県立大学), 栗田茂明 (ラルゴ), 杉浦茂樹 (東北学院大学)

遠隔パソコン要約筆記システムを提案し、予備実験で判明した問題点の改良を行い、改良したシステムを実際に学会で使用した。

(6) 16:10~16:40

抽象的データ構造を用いたアルゴリズム表現に基づくプログラム評価システムの実用性評価

○鈴木浩之, 小西達裕, 伊東幸宏 (静岡大学)

我々は、プログラミング言語では直接は提供されていない抽象的なデータ構造の概念やそれらのデータ構造に対する操作の概念を利用して、学習者のプログラムを評価する手法を検討している。これまでに教授すべき教育意図をアルゴリズムとして表現する手法を考案し、このアルゴリズムを利用して学習者のプログラムを自動評価するシステムを構築してきた。このプロトタイプシステムの実用性を、実際にプログラミング演習で回収されたプログラムを使って評価した結果を報告する。

(7) 16:40~17:10

作問学習支援システム：モンサクンの設計・開発と実践利用

○平嶋宗 (広島大学), 横山琢朗 (九州工業大学), 岡本真彦 (大阪府立大学), 竹内章 (九州工業大学)

単文統合レベルの作問学習支援システム：モンサクンの設計開発と小学校における実践利用の結果について報告する。

2006 年度第4回研究会 講演募集！

担当:研究会委員会
黒瀬丰能, 磯本征雄,

「生涯学習と高等教育」をテーマにした研究会を開催いたします。講演の募集をいたしております。

テーマ： 生涯学習と高等教育／その他
開催日： 2006年11月25日(土)
会場： 岐阜聖徳学園大学 経済情報学部

趣 旨：

e-Learning などによる教育が盛んになることで、今後の教育の場は過去の概念を越え大学のキャンパスの外へと大きく広がると予想されます。「生涯学習と高等教育」を主題にしましたこの研究会では、大学のカリキュラムに沿った教育だけでなく、既に大学や学校を卒業した成人を対象とした教育をも含む内容の研究発表の場とすることを想定しております。これら以外の内容であってもご応募に応じます。ご参加・講演応募をお待ちしております。

【発表表申し込み方法】

以下の事項を電子メールでお送りください。形式は自由です。

1. 発表タイトル
2. 発表者・所属（登壇者に○）
3. 発表概要（100字程度）
4. 連絡先住所・氏名・電話番号・電子メールアドレス
5. 送付先：〒500-8288 岐阜市中鶉1丁目38
岐阜聖徳学園大学 経済情報学部 磯本征雄 (yisomoto@gifu.shotoku.ac.jp)
6. 申し込み締め切り日： 10月4日(水)

【講演原稿の原稿執筆要領及び提出方法】

1. 原稿はA4用紙で、2枚以上8枚以下の偶数枚でお願いします。
2. 原稿は、学会誌巻末に掲載してある学会誌原稿執筆要領に準拠してください。
3. 頁番号は、鉛筆で原稿の左上に鉛筆で記入してください。
4. 印刷原稿を送付してください。
5. 原稿送付先：〒500-8288 岐阜市中鶉1丁目38
岐阜聖徳学園大学 経済情報学部 磯本征雄
6. 原稿締め切り日： 10月25日(水)

【お問い合わせ先】

磯本征雄

岐阜聖徳学園大学 経済情報学部 大学院経済情報研究科
〒500-8288 岐阜市中鶉1丁目38 TEL 058-278-0711 (代表) Fax 058-278-0718
E-mail : E-mail yisomoto@gifu.shotoku.ac.jp

『e ラーニング環境のデザイン／一般』プログラム

日時：2006 年 6 月 9 日 (金) 10:00～17:35

会場：早稲田大学 国際会議場 第一会議室 (西早稲田キャンパス)

1) 教育システム工学サーベイ 2006

○君島 浩 (防衛庁)

君島氏による恒例の教育システム工学に関する年度サーベイである。今回 (2006 年度版) では、1. 教育情報処理の話題、2. 教育主題ごとの話題、3. 教員育成関係の話題、4. 危機対処教育の話題、の 4 項目について報告があった。

2) 脳内ヘモグロビン濃度を指標とした「学習状況マップ」の開発

○黒田恭史 (佛教大学), 岡本尚子 (大阪大学), 山内留美 (立命館大学)

近赤外線による光計測装置は、2 種類のヘモグロビン濃度、すなわち酸素を有した酸素化ヘモグロビン濃度、酸素を放出した脱酸素化ヘモグロビン濃度の時系列データを計測する装置である。この装置は、複数部位の同時計測が可能である点、通常姿勢における計測が可能である点に特長を持ち、生体情報による学習過程の解明に大きく寄与する可能性を持つ。但し、現段階では学習過程とヘモグロビン濃度変化の関係についての解釈が明確化するまでには至っておらず、とりわけヘモグロビン濃度変化のグラフをどのように定量化するかが一つの課題となっている。本発表では、脳内生体情報を定量化する一つの試みとして、ヘモグロビン濃度変化の時系列グラフから、最小二乗法による回帰直線の傾きと、グラフの最大振幅を算出し、(x, y) の値として xy-直交座標上にプロットすることで学習過程の特徴を明示化する「学習状況マップ」を開発するとともに、その有効性について検証した。

3) 加法課題遂行時における脳内ヘモグロビン濃度変化の特徴について

○岡本尚子 (大阪大学), 山内留美 (立命館大学), 黒田恭史 (佛教大学), 前迫孝憲 (大阪大学)

低難度の計算として加法筆算を、高難度の計算として乗法・除法の筆算と虫食い算を設定し、加法筆算を乗法・除法の計算前 (加法 I) と計算後 (加法 II) に実施、高難度の計算が低難度の計算に及ぼす影響を脳生理学的側面から検討した。実験の実施に際しては、行動観察に加えて、近赤外線による光計測装置を用いて脳内ヘモグロビン濃度変化を計測した。その結果、加法 I から加法 II にかけて、所要時

間の減少がなされたとともに、酸素化ヘモグロビン濃度の減少、脱酸素化ヘモグロビン濃度の増加が見られた。これらの変化は、高難度の計算遂行を行ったことによる低難度の計算の習熟によるものと考えられる。

4) 論理的内容のイメージ化による瞬間教育

○浪平博人 (大妻女子大学)

論理的内容の従来教育の問題点を指摘し、新しい方向の教育の提案があった。今回は、論理的内容のイメージ化による意味の伝達についての報告であった。「論理とは、状態を変化させる駆動則」という立場をとり、動的視覚化の例として、中心極限定理の視覚化、判別の視覚化、外積の視覚化、2 次形式の視覚化、周辺分布の視覚化、ポアソン分布の視覚化を実現したソフトウェアのデモンストレーションがあった。

5) 音声コンテンツにおける「音の演技」の意味への一考察

○大久保博樹 (駿河台大学), 西尾安裕 (デジタルハリウッド大学大学院)

ここ数年、大学等においても e ラーニングや CBT といったデジタルコンテンツの導入と利用が進んできている。そのような中で最近注目されるものに Podcast による教育コンテンツの配信が挙げられる。一部の大学においては Podcast を利用して、講義の様子を音声コンテンツとして実際に配信を始めている。本研究では、Podcast に見られるような、より身近になったデジタルコンテンツの教材における音声コンテンツについて、「話し方」としての「構成」と「聞かせ方」としての「熱意」の側面に着目し、とくに学習者に継続して聞いてもらえるような「聞かせ方」の要件について、ラジオ制作の手法である「音の演技」という実践的な視点で考察した。

6) e ラーニング専門家養成のための e ラーニング環境の設計：熊本大学大学院教授システム学専攻の事例

○根本淳子, 北村士朗, 鈴木克明 (熊本大学)

本発表では、2006 年 4 月に新設された熊本大学大学院社会文化科学研究科教授システム学専攻 (修士課程) の開始準備の概要について、オリエンテーシ

ョン科目の実施までを中心に、インストラクショナルデザイン (ID) の観点から概観があった。本専攻のカリキュラムは、ID の知識に基づいて遠隔教育デザインができる学習環境開発専門家を育成することを目指し、ID に基づく教育設計に必要な高度な知識、最新テクノロジーを活用する IT スキル、ネットワーク社会で必須の知的財産に関する知見、組織に適合した教育実現に必要なマネジメント能力を 4 つの柱とし、必須 12 科目と選択 16 科目を配置した。入学に際し、スムーズな学習開始を支援することを目指して、導入教育を企画した。採用した学習管理システムにない科目間にまたがる進捗管理機能等を備えた独自の学習用ポータルサイトを設計・構築し、オリエンテーション科目を企画・実施して一定の効果を上げた、との報告があった。

7) 衛星とインターネット中継による双方向討議型遠隔授業の試み

○大島直樹、松浦良行、向山尚志、上西 研 (山口大学)

社会人受講者を対象とした専門職大学院教育では、従来の大学教育と異なり、実践的な課題解決能力の養成が強く求められる。山口大学大学院技術経営研究科では、企業の現場と講義室をマルチチャンネル双方向式の遠隔講義システム (MOT 実践教育支援システム) で結び、現場の暗黙知を引き出し、技術経営の知識、スキルおよび思考法を学ぶ企業現場参画型実践授業を試験的に行った。本報告では、MOT 実践教育支援システムの概要と同システムを用いて開催した双方向討議型遠隔授業の内容について報告があった。

8) 中央大学における国家試験対策 Web 講座の事例報告

○大塚意生 (日本メディア教育株式会社)

我が国の大学において、学生を国家試験に合格させ社会に送り出すことは、教養を身につけさせることと等しく、重要なことである。弊社は 2 年間、e ラーニングを駆使して、中央大学の公認会計士講座の支援を行っている。この e ラーニングの 1 つの柱は、国家試験合格に必要な全講座を録画し、「ストーリー映像の巨大なデータベース」を構築することである。2000 時間分の映像ライブラリーをつくり、受講生が誰でも、随時、苦手な単元の復習ができるように、作業を進めている。国家試験を目指す学内集団のボーダーラインを一定水準にまで押し上げるのに貢献している。もう 1 つの e ラーニングの柱は、2 次試験対策用に昨年から投入した「短答式トレーニング・プログラム」である。2 次試験の過去問および類題 7000 問をサーバー上のデータベースに蓄積。受験生が、最短 1 か月で完全マスターできるよ

うにプログラムした。その結果、中央大学の昨年の 2 次試験不合格者はわずか 4 名。最終合格者数も東京大学を抜いて全国第 3 位に躍進することができた。試行錯誤しながら国家試験に対峙したこの 2 年間で振り返りながら、e ラーニングの方向性に関する提案があった。

9) 数式表示可能な数学の e-ラーニングシステムの構築と実践

○江見圭司 (京都情報大学院大学)

理工系の e-ラーニングシステムのためには数式表示は必須である。本発表では、数式表示可能な数学の e-ラーニングシステムの構築をして、線形代数の授業と、現時点での問題点に関する報告があった。

10) 学習サイクルに基づく英文読解学習支援システムの開発

○藤井諭、橋本匡史、井川勉、岩田淳 (松江工業高等専門学校)

独学による英語学習は一般に単調になりやすく、長続きせず挫折してしまうことがしばしばある。英文読解の自主学習に焦点を当て、学習者のモチベーションを維持して継続的に英文読解学習を行なえる方法を検討した。英語力の向上をより確実にこなうために、英文読解の学習サイクルのモデルに基づく英文読解学習支援システムの提案があり、実装と評価に関する報告があった。

11) SCORM2004 を拡張したモバイルラーニング環境の設計と実装

○仲林 清、星出高秀 (NTT レゾナント (株))、細川真伸、川上太一、佐藤一夫 ((株) NTT ドコモ)

携帯電話とパソコンの双方から、教材や学習履歴を共有し、学習者適応型学習が可能な学習環境を開発した。設計目標として、(1)携帯電話キャリア各社の端末に対応し、標準規格に則った学習基盤の提供、(2)携帯電話でのオフライン型学習の実現、(3)携帯電話とパソコンによる学習結果の相互参照と学習内容への反映、(4)カメラやカード認証機能など高度な携帯電話機能の学習活用、を目指した。開発したシステムでは、携帯電話端末上のアプリケーションが学習コンテンツを実行し、実行結果は SCORM2004 に準拠したフォーマットに変換されて LMS に送信される。LMS では携帯電話とパソコンの教材および学習履歴を統合的に管理しており、SCORM2004 のシーケンシング機能によって、前回の学習結果に応じて次の学習内容を適応的に変更する。システムを実装し、携帯電話キャリア 3 社の端末を用いて動作を確認した。

12) 学習目的のソーシャルネットワーキングサイトの開発

○吉崎弘一（園田学園女子大学）

本研究では、学習目的のソーシャルネットワーキングサイトとして、“Social Learning Life”を開発した。同 web サイトは、1)効果的な eラーニング教材を効率的に作成、2)学習資源の共有、3)教学を通じた人的ネットワークの構築、の3つの目的を達成するよう設計した。サイトの利用者は誰でも eラーニング教材の作成や、学習の記録を他学習者と共有

することが可能となる。

13) CMS へのストリーミングコンテンツアップロード環境の作成に関して

○松本 哲（京都情報大学院大学・京都コンピュータ学院）、廣瀬 誠（京都情報大学院大学）

WebCT Vista ヘストリームを含む SCORM 対応の教材を格納する学務（時間割）と連携したシステムを作成・構築した。



◆◇ 研究報告のお求めは ◇◆

研究報告書購入ご希望の方は、株式会社メディ・イッシュまで、TEL (03-5805-1901)、FAX (03-5805-1902) にお申し込みください。1部1,300円（送料共）です。残部切れの際はご容赦ください。なお、JSiSE 会員で「研究報告」の年間購読（購読料は送料込みで年間4,000円）をご希望の方はJSiSE 事務局TEL (06-6990-3638)、Eメール (secretariat@jsise.org) までご連絡ください（年間6回）。この際、ぜひ購読されますようおすすめいたします。（教育システム情報学会 研究会委員会担当/伊東幸宏）



国際会議の案内

国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れているCFP情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡ください。また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

新規情報 2 件

WBE 2007: The Sixth IASTED International Conference on WEB-BASED EDUCATION

開催日程：2007年3月14-16日

主催：The International Association of Science and Technology for Development (IASTED)

論文応募締切：2006年10月15日

開催地：Chamonix, France

URL：<http://www.iasted.org/conferences/home-557.html>

SITE 2007: the 18th annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催日程：2007年3月26-30日

主催：Association for the Advancement of Computing in Education (AACE)

論文応募締切：2006年10月25日

開催地：San Antonio, Texas, USA

URL：<http://site.aace.org/conf/call.htm>

再掲情報 0 件

国際会議案内文責 曾我 真人（和歌山大学）

E-mail：soga@sys.wakayama-u.ac.jp

★★ 2007年10月発行号掲載 特集論文募集 ★★

学会誌編集委員会

テーマ：新しいメディア／デバイスを活用した学習支援環境

○主旨

近年のコンピュータとその周辺環境の技術発展に伴い、新しいメディアやデバイスを用いた学習支援環境が注目されつつあります。例えば、高度なグラフィックスやハプティックス、空間の共有、現実と仮想の合成技術などを利用して、スキル学習などを中心に、体験的な学習支援が可能となりつつあります。また、携帯電話や PDA などの携帯情報端末を用いたユビキタス性を重視した学習支援環境も整備されつつあります。本特集では、このような新しいメディアやデバイスを活用した学習支援環境に関する論文を広く募集します。またこれらのデバイスを利用するコンテンツ開発に関する研究も歓迎いたします。

○対象分野

本論文特集は、新しいメディア／デバイスを活用した学習支援環境に関連する研究を広く募集致します。但し既存のメディア／デバイスに関連する研究であっても、新しい活用法を含むものであれば対象範囲とさせていただきます。

具体的なキーワードとしては次のようなものを挙げることができますが、これらに限りません。

スキル学習、体験的学習、協調学習／グループ学習、CSCL、ILE、バーチャルリアリティ、ヒューマンインタフェース、高度なグラフィックス技術、音声言語処理、力覚提示デバイス、HMD、空間共有技術、現実と仮想の合成技術、センサ技術、シミュレーション環境、携帯電話、PDA、RFID タグ、GPS、センサーネットワーク、デジタルペン、無線 LAN、ブルートゥース、赤外線通信、WWW、インターネット、ハイパーメディア

○論文種別

原著論文、ショートノート、実践論文、実践速報を募集します。なお、査読の結果により、異なる種別での採録になることがあります。また、編集委員会の判断により、特集ではなく一般投稿論文としての採録とさせていただきます。

○投稿要領

一般の論文投稿規程に準じます。投稿に際しては、原稿の 1 ページ目および封筒に「新しいメディア／デバイスを活用した学習支援環境」と朱書きしてください。

○スケジュール

投稿締め切り：2007 年 3 月 8 日

掲載予定：2007 年 10 月 1 日発行の学会誌

○問い合わせ・原稿送付先

教育システム情報学会事務局

〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8 大阪経済大学内

E-mail：secretariat@jsise.org